



宮崎県

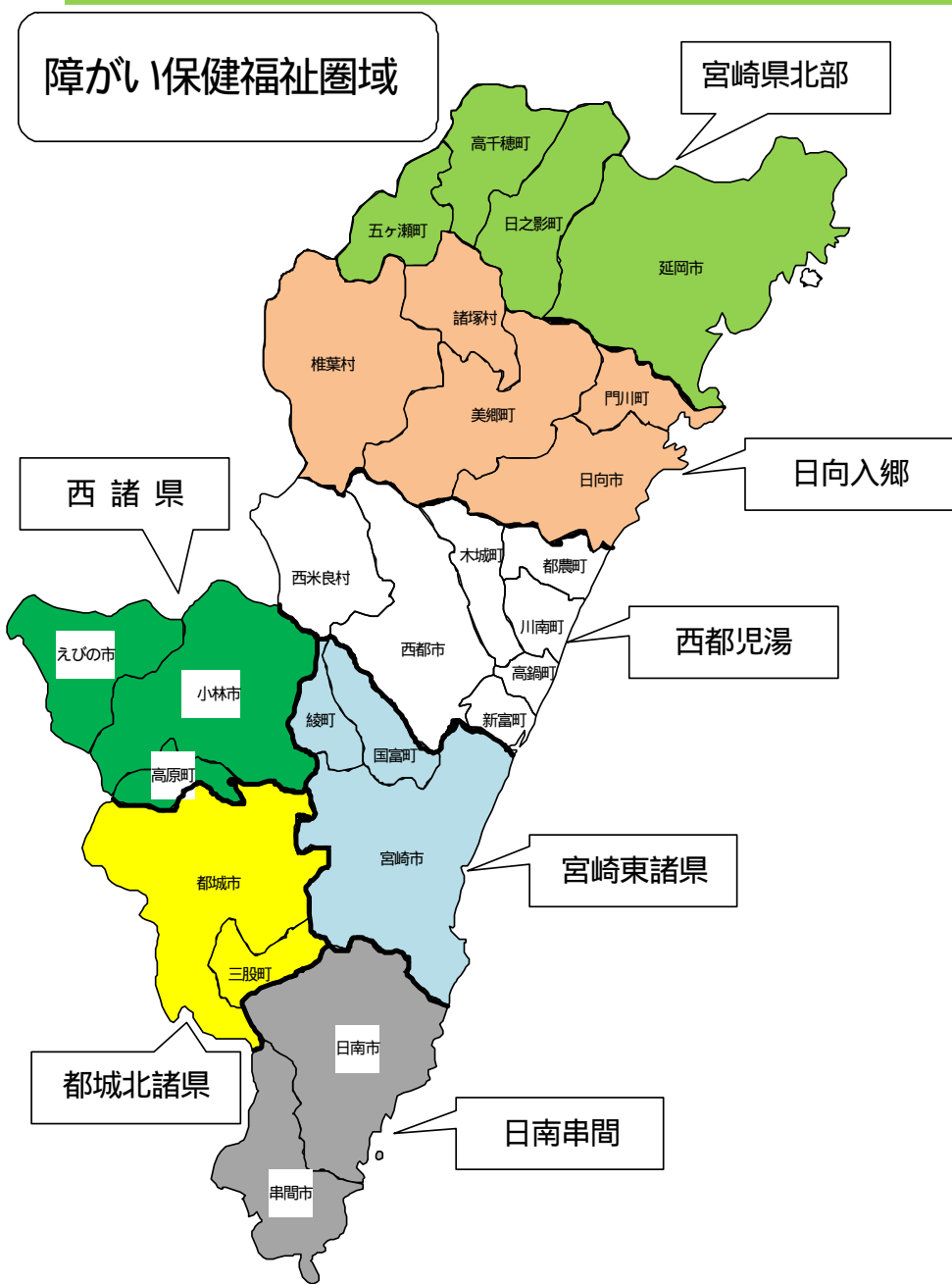
地域生活支援拠点等の整備について

平成30年9月10日
宮崎県障がい福祉課 徳留 智大



1. 宮崎県の概要
2. 地域生活支援拠点等の整備に向けた取組状況
3. 宮崎県の人口・分類別人口（将来推計）
4. 人口（将来推計）から見た課題と拠点等の整備
5. 宮崎県で進める拠点等整備のポイント

1. 宮崎県の概要



人口・世帯数(平成30年8月1日 推計値)

総人口	1,080,279人
男性	508,218人(47%)
女性	572,061人(53%)
世帯数	468,364世帯

障がい者数(平成29年度末現在)

身体障がい者	62,644人(76.0%)
知的障がい者	11,479人(13.9%)
精神障がい者	8,289人(10.1%)
合計	82,412人(100%)

宮崎県の1番

(平成30年3月作成)



日本最大級
KIRISHIMAヤマザクラ 宮崎県総合運動公園

総面積154haの中に広がる松林と500種42万本もの花や木、18の競技施設があり、日本最大級の運動公園施設です。読売巨人軍やJリーグチームのキャンプ地でもあります。

スポーツランド みやざき!



受入チーム数 日本一
Jリーグキャンプ

宮崎県内では1~3月にかけてJリーグチームがキャンプを実施しています。例年20チーム前後を受入れ、受入数日本一となっています。



収穫量・栽培面積 日本一
きんかん

完熟きんかんのうち糖度16度以上が「たまたま」、糖度18度以上が「たまたまエクセレント」として出荷されます。



収穫量・栽培面積 日本一
日向夏

宮崎県原産の柑橘。黄色い皮を薄くむき、白いワタの部分も果肉と一緒に食べます。



収穫量・出荷量 日本一
きゅうり

特に、冬春きゅうりは収穫量・出荷量に加え、作付面積も日本一です。



日本初指定
霧島錦江湾 国立公園

昭和9年に初めて指定された国立公園のひとつ。公園内のえびの高原周辺は、世界唯一のノカイドウ自生地です。



日本初指定
日南海岸国立公園 (海域公園地区)

昭和45年に初めて指定された海中公園のひとつ。透明な海水を通して、さんごや熱帯魚を見ることができます。



産出額・飼養羽数 日本一
ブロイラー

ブロイラーは安くても質の良いタンパク質のとれる魅力的な食材で、宮崎県の産出額は全国の約2割を占めています。



加工向出荷量 日本一
ほうれんそう・だいこん

加工向け用途の出荷量は、ほうれんそうは全国の約7割、大根は約2割を占めています。



加工向出荷量 日本一
さといも

特に、さといもの一種「京いも」は希少価値の高い本県の特産野菜です。

豊かな自然と 観光資源



宮崎の 1番



安全・安心で 豊かな食材



日本最大級
ジャカラダの 群生林
世界三大花木のひとつ。ブラジル県人会の方から種を譲渡され、日南市南郷町の宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場に植栽しました。5~6月に青紫色の花を咲かせ、県内外から観光客が訪れています。



日本最大級
照葉樹天然林

綾町のカシ・シイ・タブなどの天然林による豊かな照葉樹林は、日本最大級です。平成24年7月に、ユネスコエコパークに登録されました。



漁獲量 日本一
近海かつお一本釣り・沿岸まぐろはえ縄漁・びんながまぐろ・まかじき
近海かつお一本釣りは平成6年以降連続日本一。宮崎県は漁業も盛んです。

完全養殖 日本初
シロチョウザメ

平成16年度に国内初となるシロチョウザメの完全養殖に成功し、平成23年度には、日本一のチョウザメ産地にまで成長。平成25年度には、国産で唯一の本格熟成キャビア「MIYAZAKI CAVIAR 1983」としてついに商品化されました。そして平成28年度には、国産で初めて海外（香港）に輸出されました。

神話のふるさとみやざき!



日本唯一
海幸彦を祀る 潮嶽神社

日南市北郷町の潮嶽神社は、日本で唯一海幸彦を主祭神としています。地区内では縫い針を他人に貸さない風習があるなど、海幸・山幸伝説が多く伝わります。



日本一多
国指定重要無形民俗文化財 神楽

神楽は五穀豊穡や豊漁（豊猟）を感謝し、1年の生活の安定を祈る集落の祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている神楽の数は全国一となっています。



日本最大
帆立貝形古墳 勇狭穂塚

西都市の勇狭穂塚は、全長約176m、後円部直径約132m、後円部高さ約19mで、帆立貝形古墳としては日本最大。宮内庁陵墓参考地となっています。



世界最速
残留農薬検査

平成27年10月、世界最速の分析装置を備えた「食の安全分析センター」が設立されました。国内で使用される農薬のほとんどを世界最速の速さで検出することができ、宮崎の農水産物の安全・安心の確保のために活躍します。



日本一
宮崎牛

5年に1度の和牛のオリンピックである「全国和牛能力共進会」の宮城県大会（平成29年9月）で、本県勢は9部門中3部門で全国1位となりました。さらに、肉牛の部では最高賞である内閣総理大臣賞を獲得しました。本県の受賞は3大会連続で、累計4度の獲得は全国最多です。



トップ
シェア

世界最先端の技術が集まる
東九州の物流拠点

平成28年1月、「ポート・オブ・ザ・イヤー2015」を受賞した細島港には、国産材の製材工場として国内最大の企業や、世界シェア1位となるリチウムイオン二次電池の材料を製造する企業など、世界最先端の技術を有する企業が多く集積しています。細島港は「九州の扇の要」に位置することから、今後さらなるインフラ整備等により、九州全域からの集荷が期待されます。



世界
最大級

太陽電池製造工場

国富町には、年産能力が世界最大級のCIS薄膜太陽電池の製造工場（企業）があります。宮崎県は「新エネルギービジョン」に基づき、ソーラー産業の集積や太陽光発電の住宅等への導入促進に取り組んでいます。

日本一

ひなた指数

全国の中で平均気温（3位）、日照時間（3位）、快晴日数（2位）がすべてトップクラスで、これらすべてを合わせた指標（県独自に設けた総合指標「ひなた指数」）は堂々全国1位。まさに「日本のひなた」を思わせる、明るく温暖で南国情緒豊かな気候です。



普及率
日本一

太陽光発電システム
太陽熱温水器

宮崎県の普及率は、太陽光発電システム、太陽熱温水器ともに全国1位。まさに「日本のひなた」を裏付ける一番です。

企業が元気な
みやざき

オンリー
ワン

宮崎から最先端技術を発信する
モノ作り企業

シラス多孔質ガラス膜（SPG膜）を活用した膜乳化工術で世界でオンリーワンの企業や、小型化・高性能化するスマートフォン等の電子機器に対応した世界最小のはんだボールを製造する企業など、キラリと光る技術を持つ企業が宮崎の地でがんばっています。

マイクロはんだボール（マイクロ）の電子顕微鏡写真

SPG膜・膜乳化工術

暮らしやすい
みやざき

日本一
長

共働き世帯における
夫の家事関連時間

共働き世帯のうち、子供がいる夫の家事関連時間は全国平均の約1.3倍の長さとなっており、日本一です。家事関連時間の内訳は「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」となっています。

日本一
安

光熱・水道消費支出額

宮崎県の1世帯当たりの1か月間の光熱・水道への支出額は17,944円。最も高いのは山形県の28,526円で、約1万円安くなっています。

宮崎の
1番

(裏面有)

出荷量
日本一

宮崎の本格焼酎

宮崎の焼酎は、芋・米・麦・そば、さらには栗など原料が多彩であることが特徴です。宮崎県産の出荷量は3年連続で日本一を誇っています。

「宮崎の本格焼酎」は宮崎県産の本格焼酎の総称で、地域団体商標（地域ブランド）として特許庁に登録されています。

出荷量
日本一

スイートピー

宮崎県のスイートピーは、温暖多照な天候を活かし、出荷量日本一です。他産地にはない宮崎オリジナル品種が多数生産されています。

生産量
日本一

都城大弓
都城木刀

都城地域で作る大弓・木刀（武道用）は、全国生産量の大多数を占め、卓越した技術は国内外の愛好家から高く評価されています。都城大弓は、国の伝統的工芸品の指定を受けています。

耳より話

他にもいろいろ！

宮崎の〇番

様々なデータを都道府県で比較してみると...

老人ホーム数(65歳以上人口10万人当たり)・・・1位

バレーボールの行動者率(10歳以上).....1位

合計特殊出生率.....3位

農業産出額.....5位

もっと宮崎県の順位が知りたい人は
「指標でみる宮崎県」
をチェック!!!



※みやざき統計BOX（HP）での公開の他、冊子の販売もしています。
●お問合せは、県統計調査課（0985-26-7042）まで。 みやざき統計BOXへGO!

全国に誇る
宮崎県産品

生産量
日本一

スギ素材

スギの素材（丸太）生産量は、平成3年以降、26年連続日本一。特に都城市内には、生産されたスギ素材を効率的に加工する大型の製材工場が集積し、国内有数の国産材供給基地となっています。

生産量
日本一

特徴あるみやざき茶
(釜炒り茶)

国内の緑茶生産量の1%にも満たない希少な釜炒り茶は、県の西北山間地域を中心に生産され、その生産量は日本一。全国茶品評会等でも、例年優秀な成績をおさめており、名実ともに日本一の産地です。

日向はまくり基石

日向市は蛤基石の全国唯一の生産地であり、本始特有の細かな網目が美しく、色、光沢ともに最上と評されています。

2. 地域生活支援拠点等の整備に向けた取組状況

第5期宮崎県障がい福祉計画の数値目標として、平成32年度末までに、「各圏域に少なくとも一つを整備」を設定し、拠点等の整備に向けた取組を行っている。

第5期宮崎県障がい福祉計画《数値目標》

事項	目標値	備考
地域生活支援拠点等の数	7箇所以上	平成32年度末までに各圏域に少なくとも一つを整備

取組状況（単独・圏域）

圏域整備を検討している自治体が多いが、同じ圏域であっても地理的状況等から単独設置を検討している自治体もある（平成30年4月1日現在）。

圏域	市町村	圏域整備	単独整備	未定
宮崎東諸県	宮崎市、国富町、綾町			
日南串間	日南市、串間市			
都城北諸県	都城市、三股町			
西諸県	小林市、えびの市、高原町			
西都児湯	西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町			
日向入郷	日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町			
宮崎県北部	延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	(3町)	(延岡市)	

取組状況（整備類型・困難な機能）

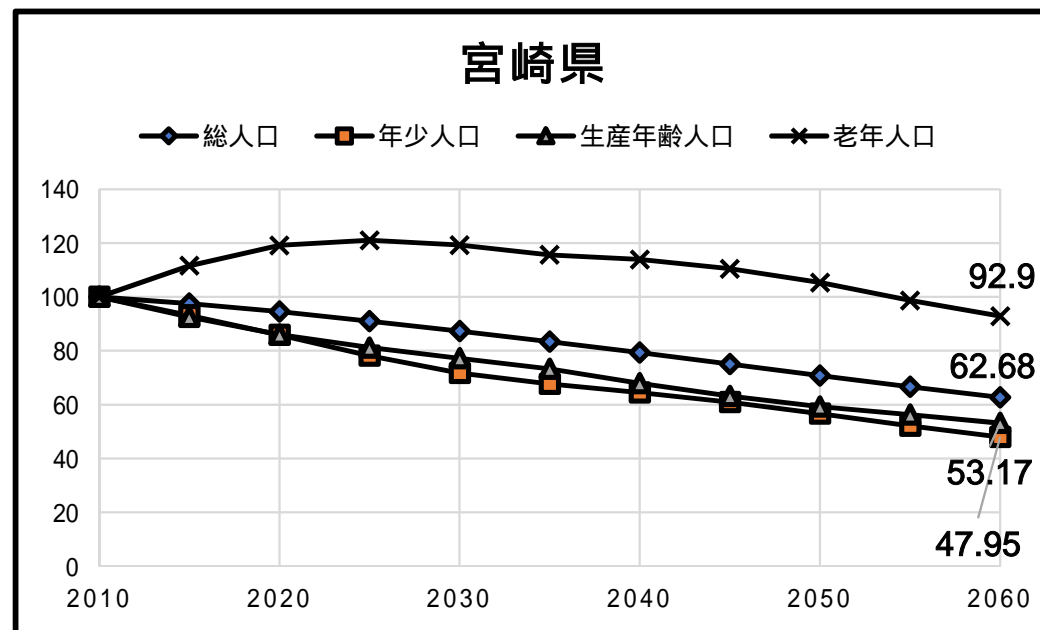
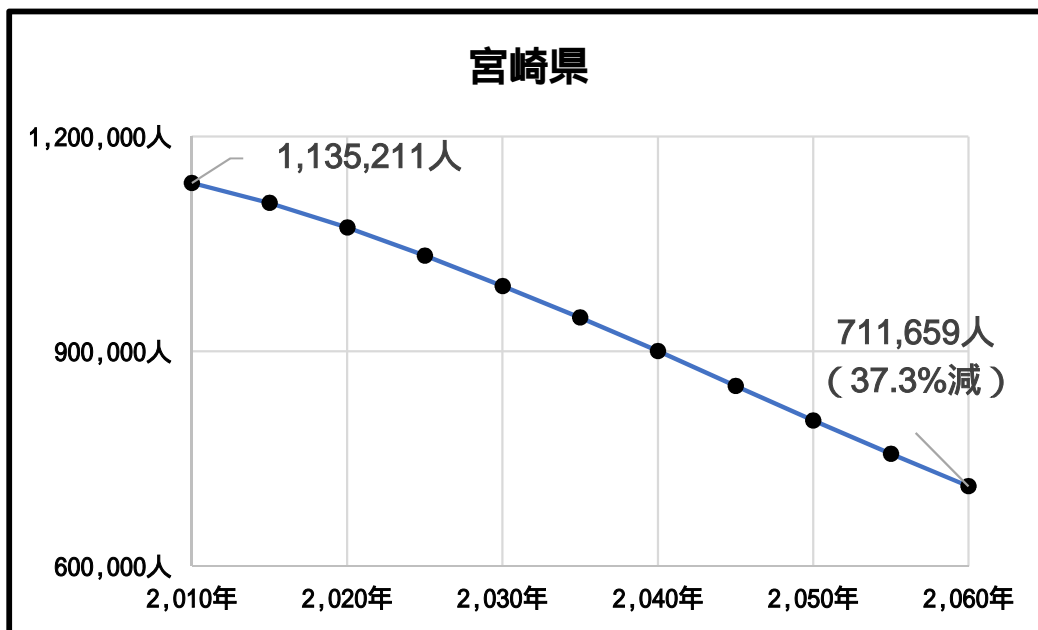
整備類型は、面的整備型を検討している市町村が約6割以上、備えるのが特に困難な機能は、「専門的人材の養成・確保（61.5%）」、「緊急時の受入・対応（46.2%）」（平成30年4月1日現在）。

整備類型	市町村数
多機能拠点整備型	0市町村（0%）
面的整備型	16市町村（61.5%）
未定	10市町村（38.5%）

拠点等の5つの機能	備えるのが特に困難と回答した市町村数
相談	6市町村（23.1%）
体験の機会・場	10市町村（38.5%）
緊急時の受入・対応	12市町村（46.2%）
専門的人材の養成・確保	16市町村（61.5%）
地域の体制づくり	10市町村（38.5%）

3. 宮崎県の総人口・分類別人口(将来推計)

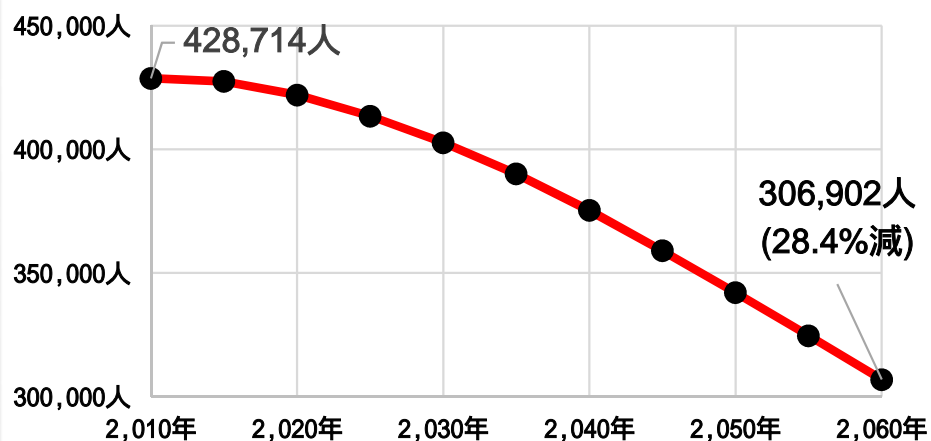
県全体の総人口は、2060年までに37.3%減少し、老年人口の減少は高止まりする中で、生産年齢人口、年少人口の減少が著しい推計結果となっている。



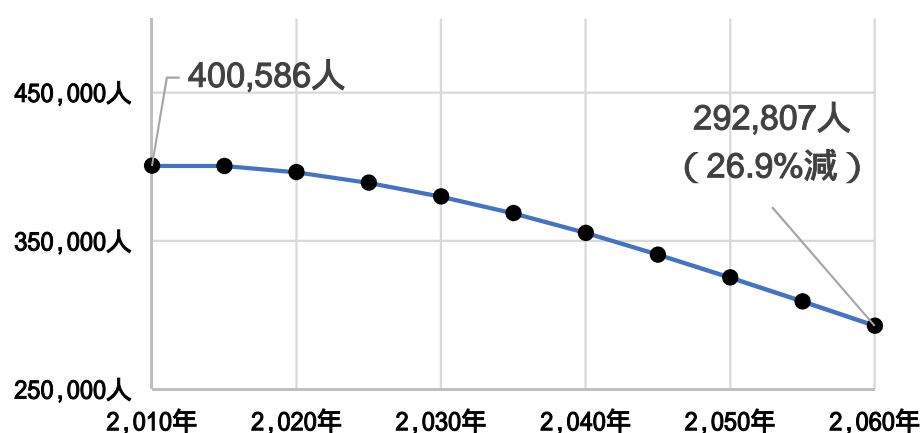
(1) - 宮崎東諸県圏域の総人口(将来推計)

圏域の総人口は、28.4%減、宮崎市は、26.9%減、国富町は、51.2%減、綾町は、46.0%減であり、特に2町は、約5割減。

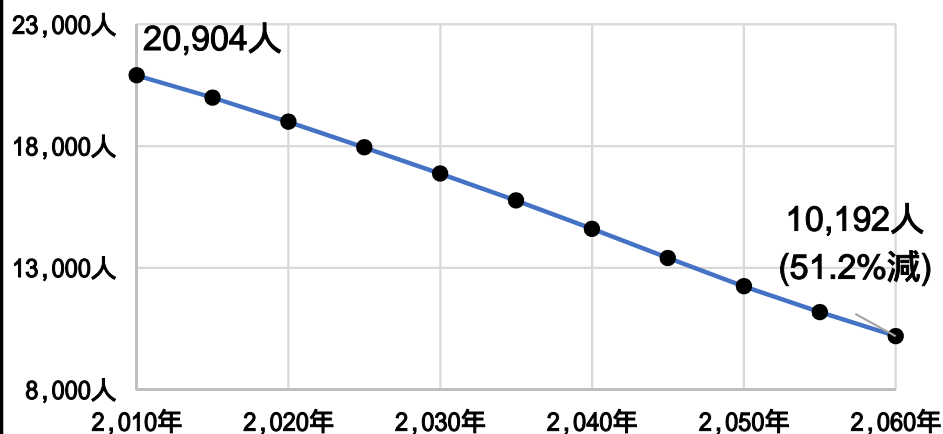
1. 宮崎東諸県圏域 (1市2町)



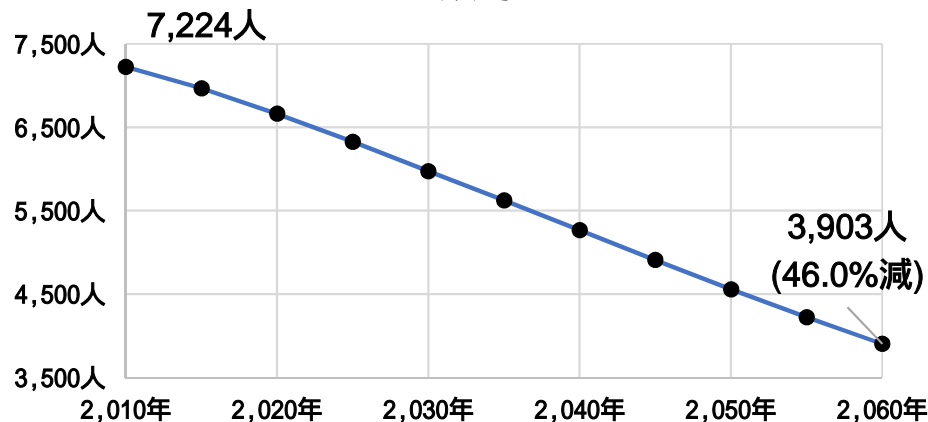
宮崎市



国富町



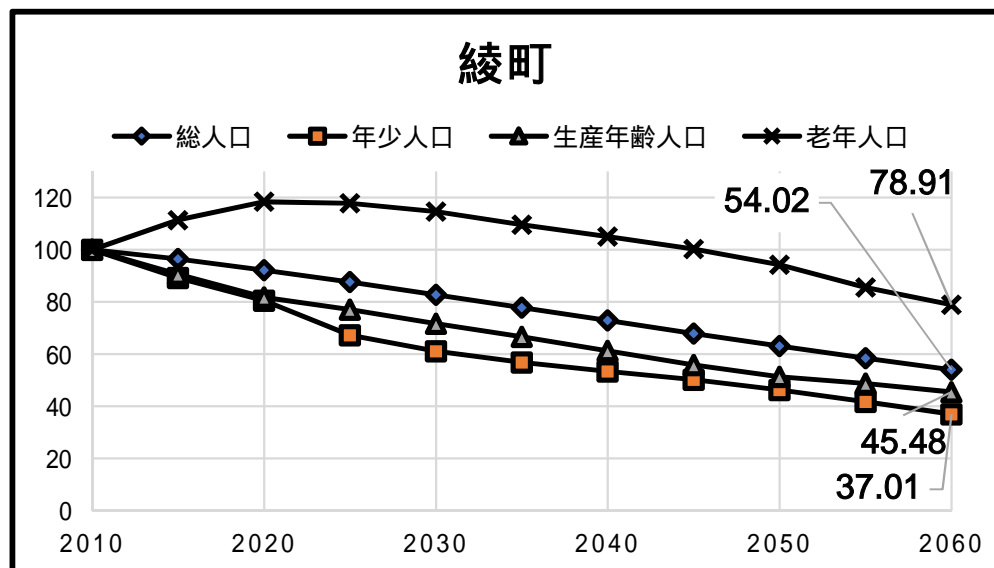
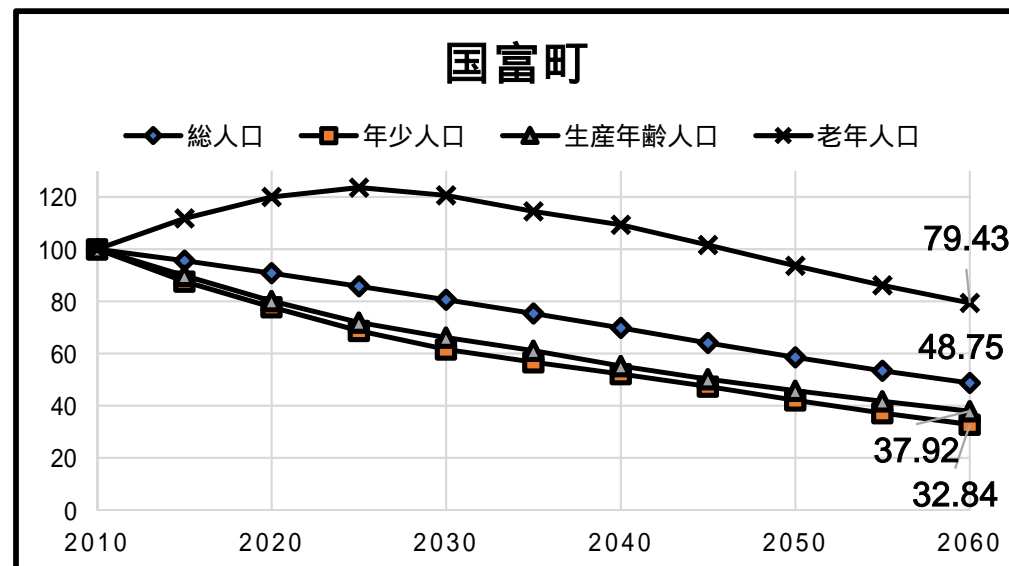
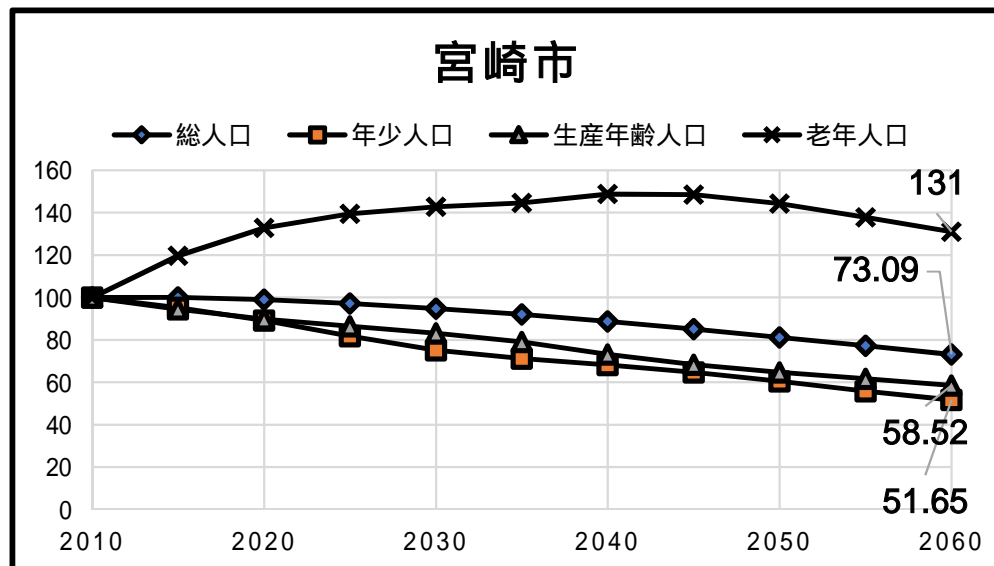
綾町



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(1) - 宮崎東諸県圏域の分類別人口(将来推計)

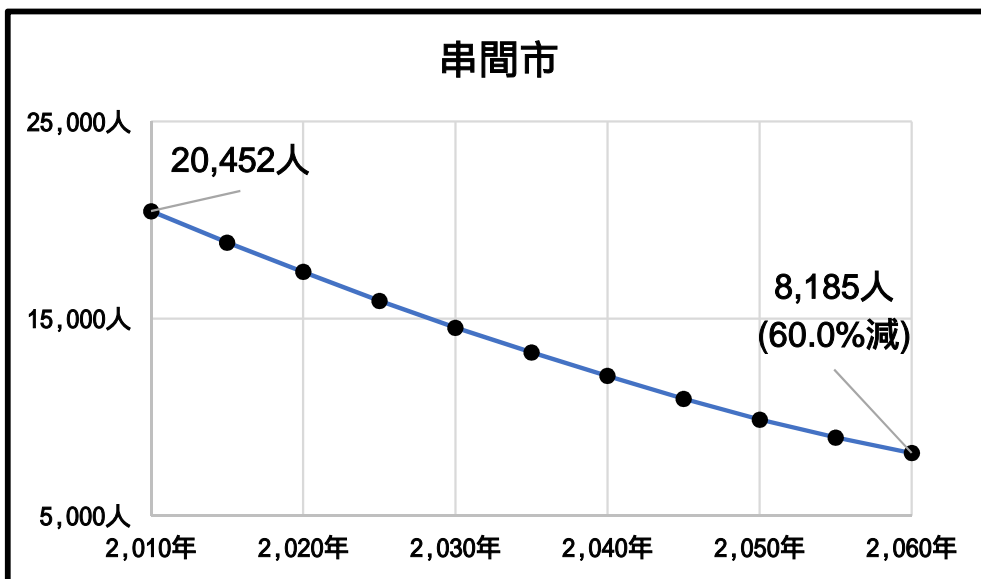
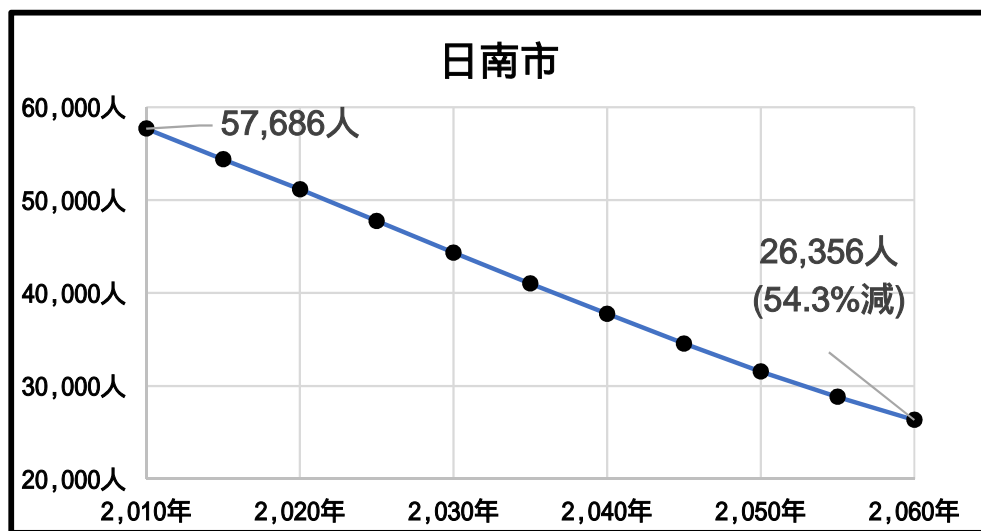
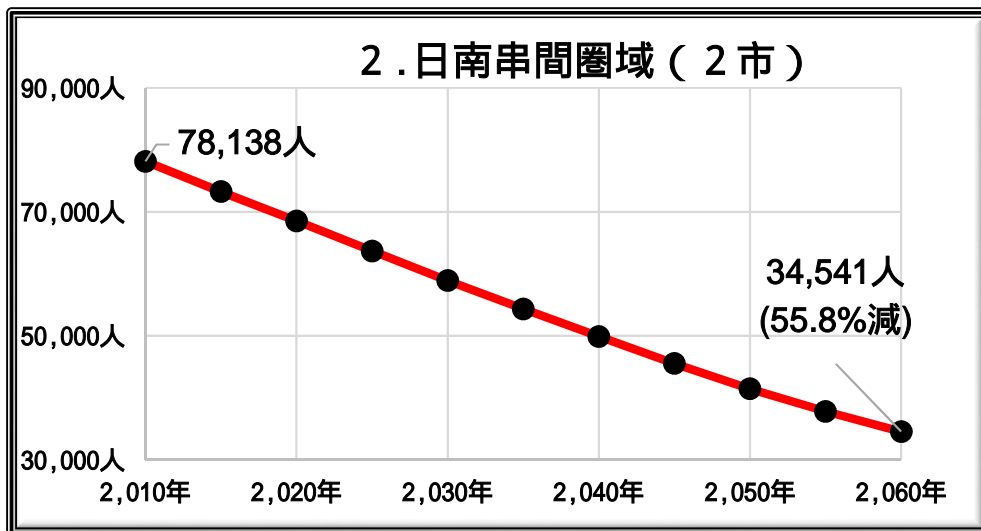
宮崎市は、老年人口は約3割増、いずれの自治体も老年人口の増減と比較して、生産年齢人口(働き手)及び年少人口の減少が著しい。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(2) - 日南串間圏域の総人口(将来推計)

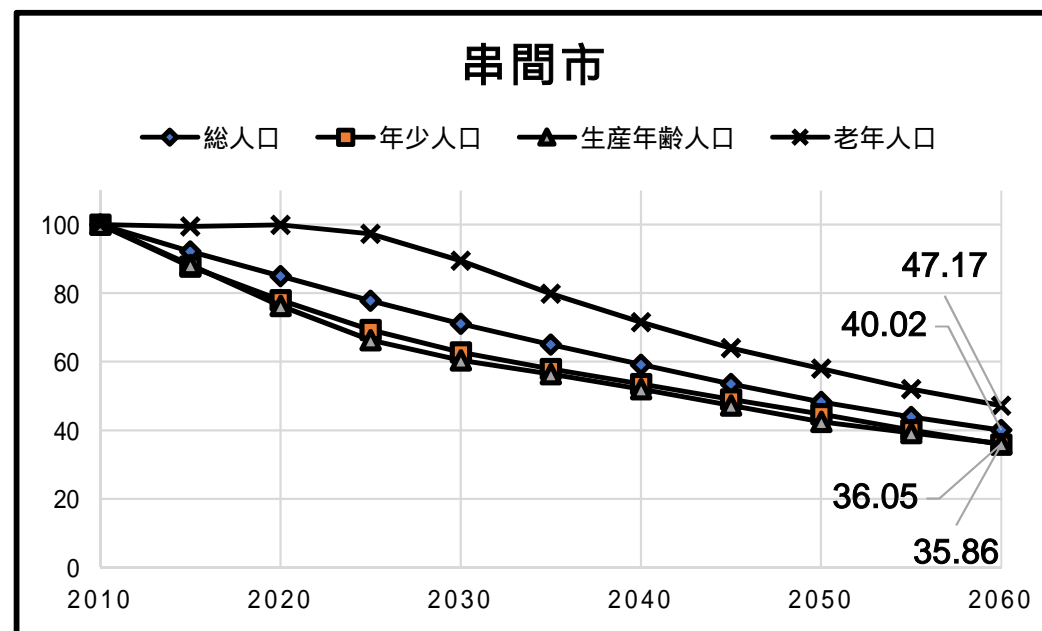
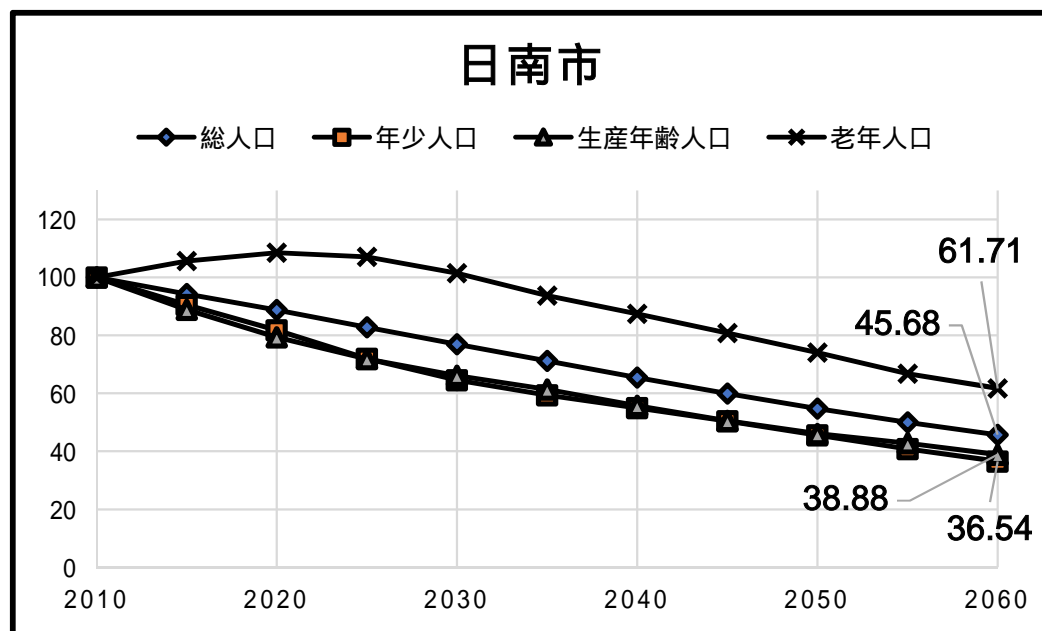
圏域及び各自治体の総人口は、5割～6割減と著しく減少。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

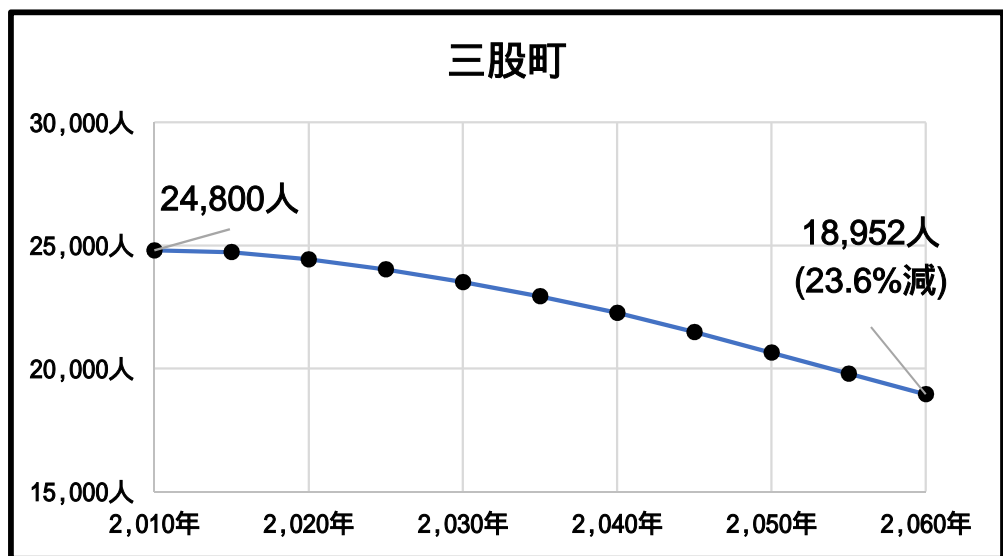
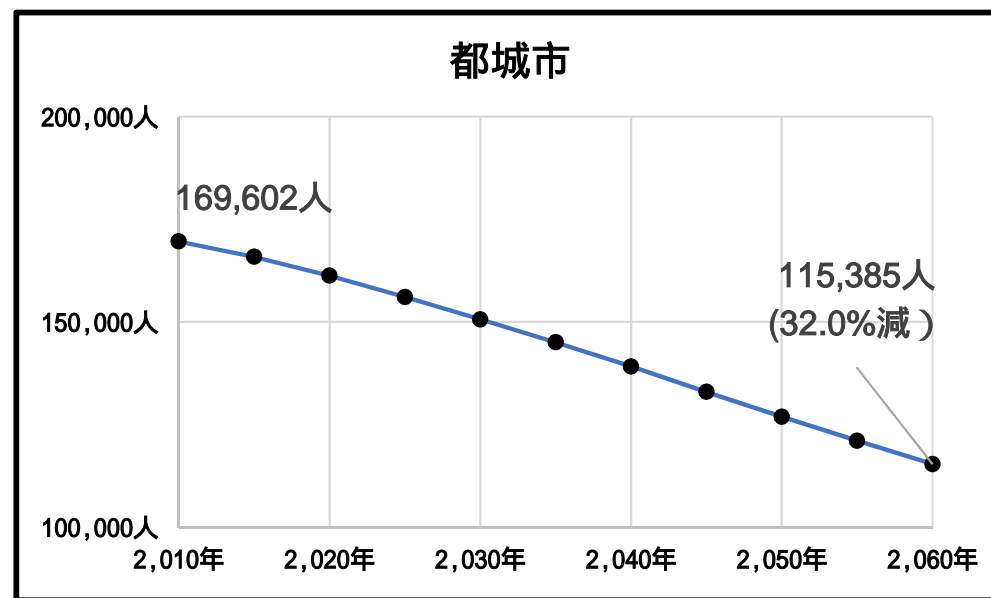
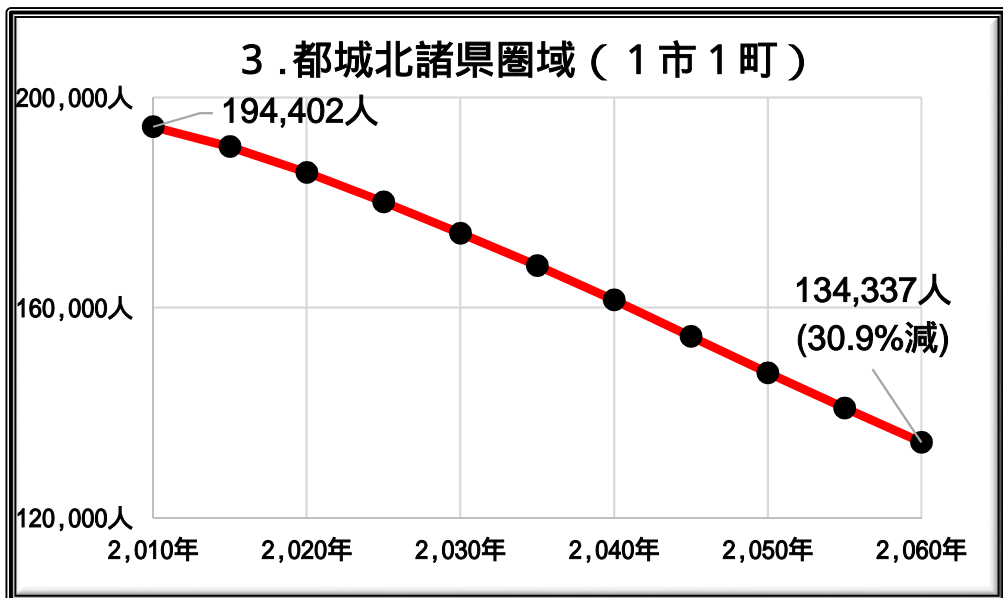
(2) - 日南串間圏域の分類別人口(将来推計)

分類別人口(総人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口)のいずれも著しく減少。



(3) - 都城北諸県圏域の総人口(将来推計)

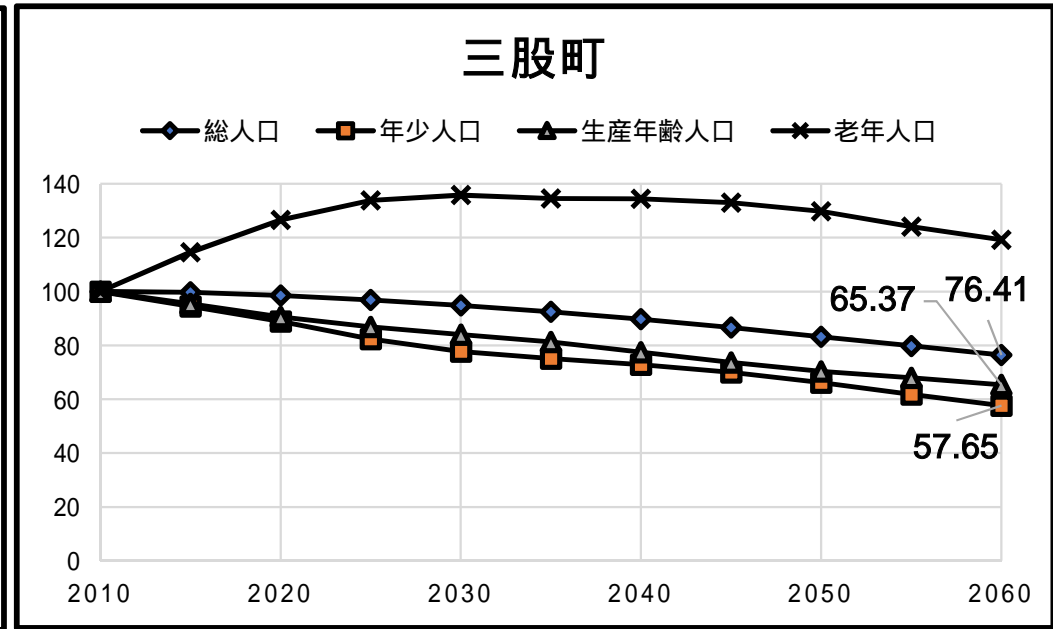
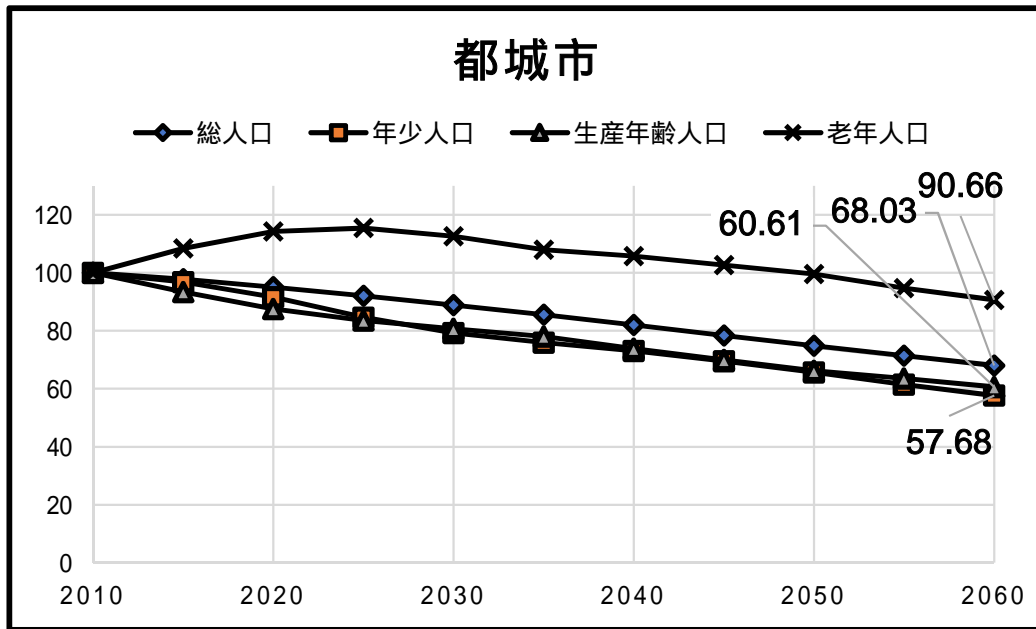
圏域の総人口は、30.9%減、都城市は、32.0%減、三股町は、23.6%減。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(3) - 都城北諸県圏域の分類別人口(将来推計)

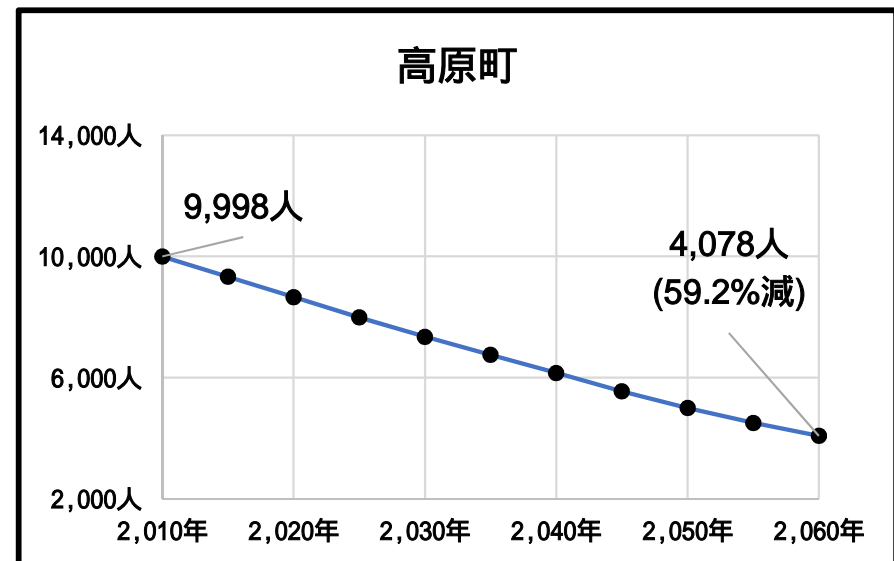
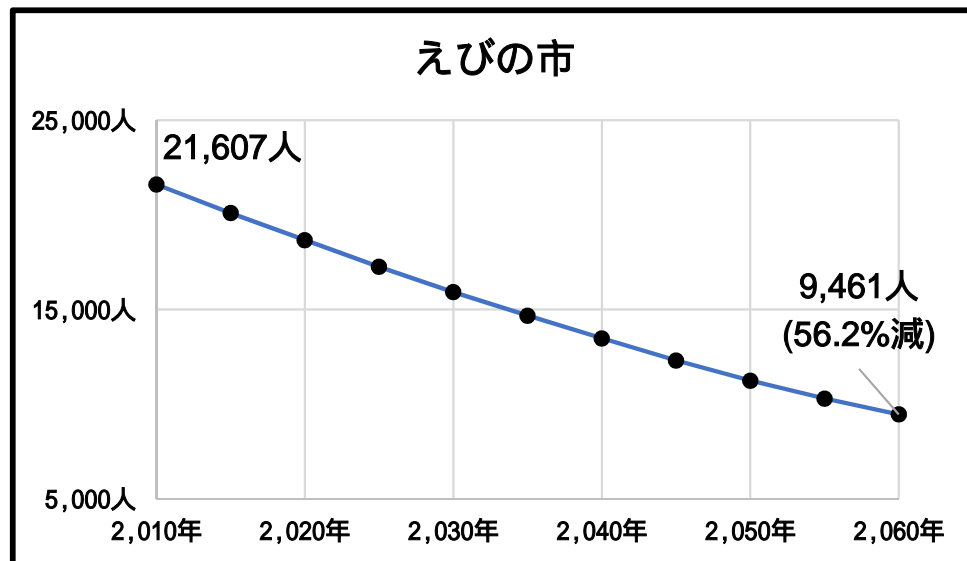
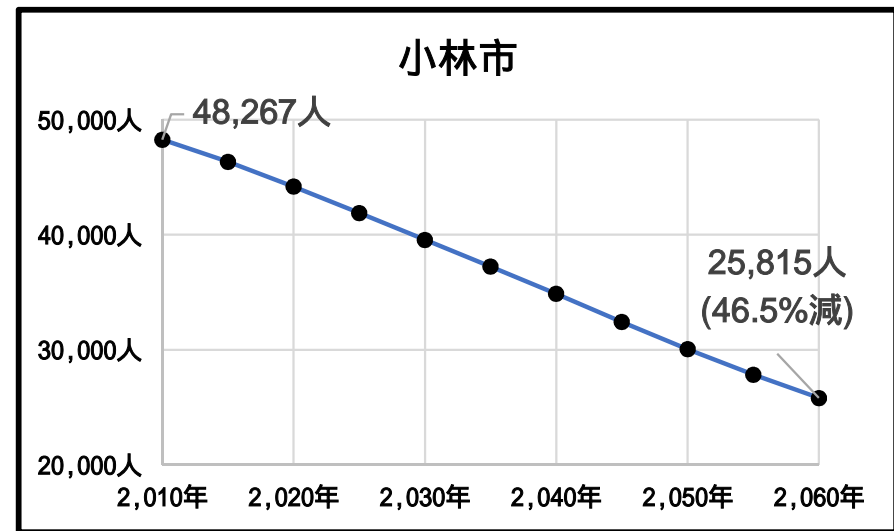
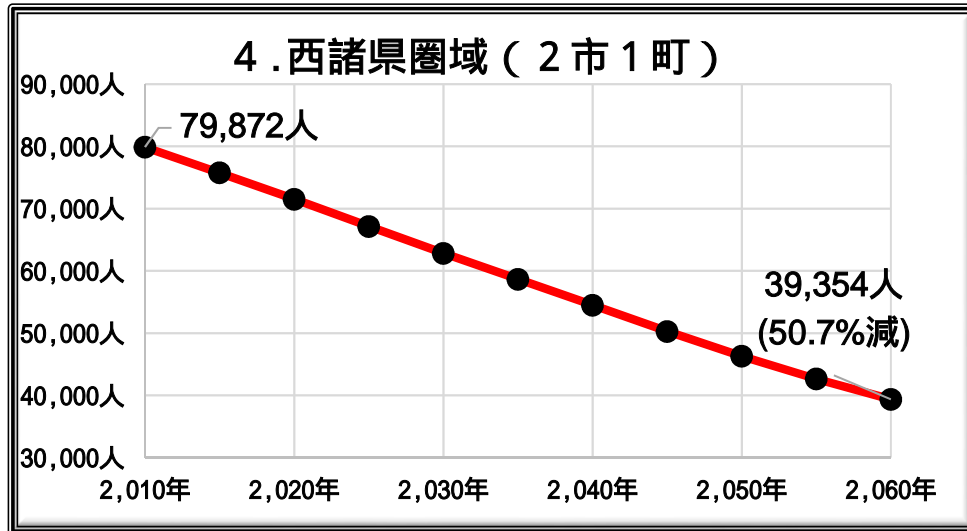
都城市は、老年人口の減少は高止まり、三股町は、老年人口が増加する中で、生産年齢人口、年少人口の減少が著しい。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

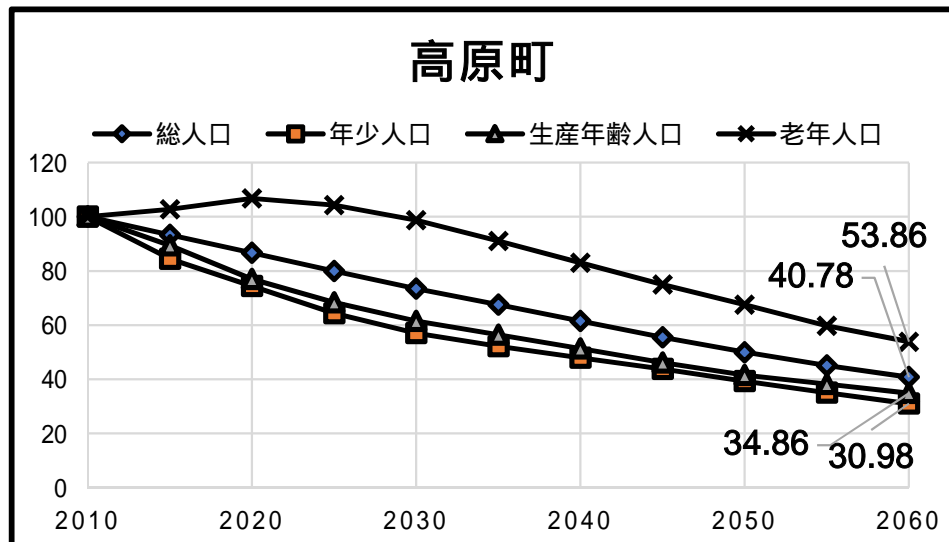
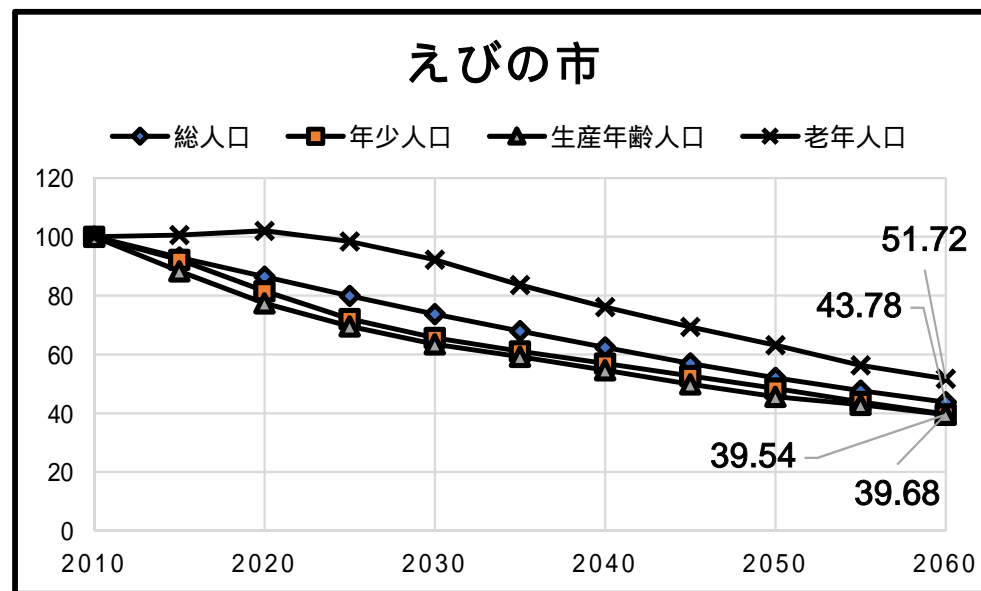
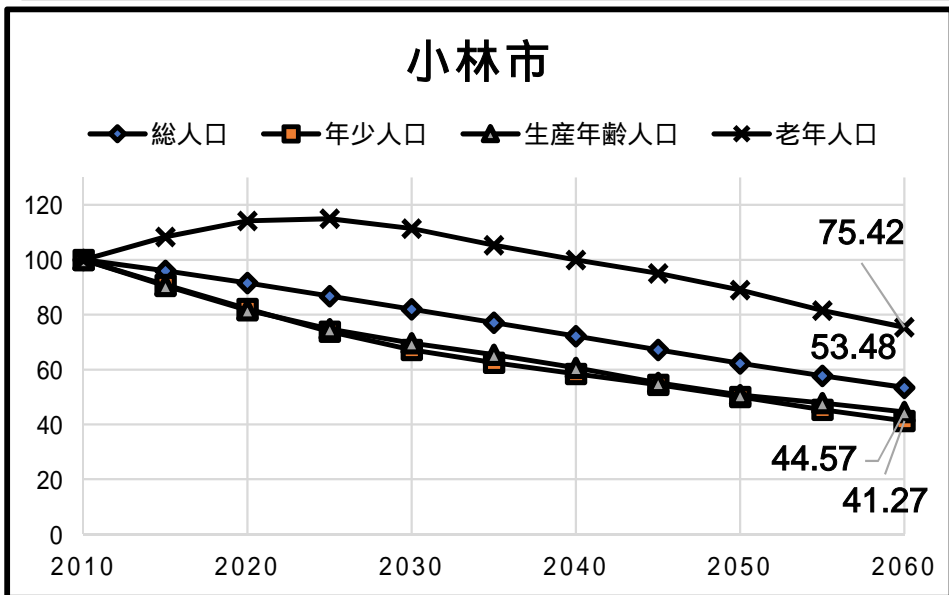
(4) - 西諸県圏域の総人口(将来推計)

圏域の総人口は、約5割減、各自治体の総人口は、約4割～6割減と総人口の減少が著しい。



(4) - 西諸県圏域の分類別人口(将来推計)

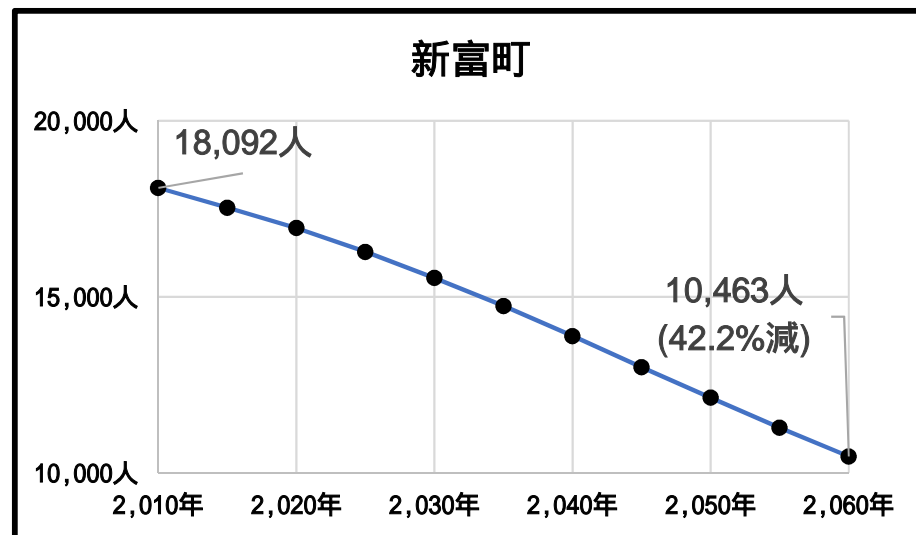
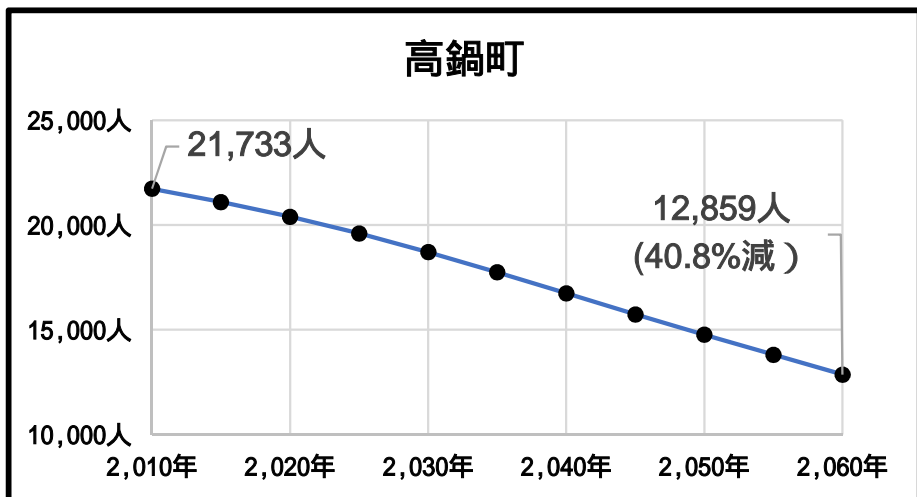
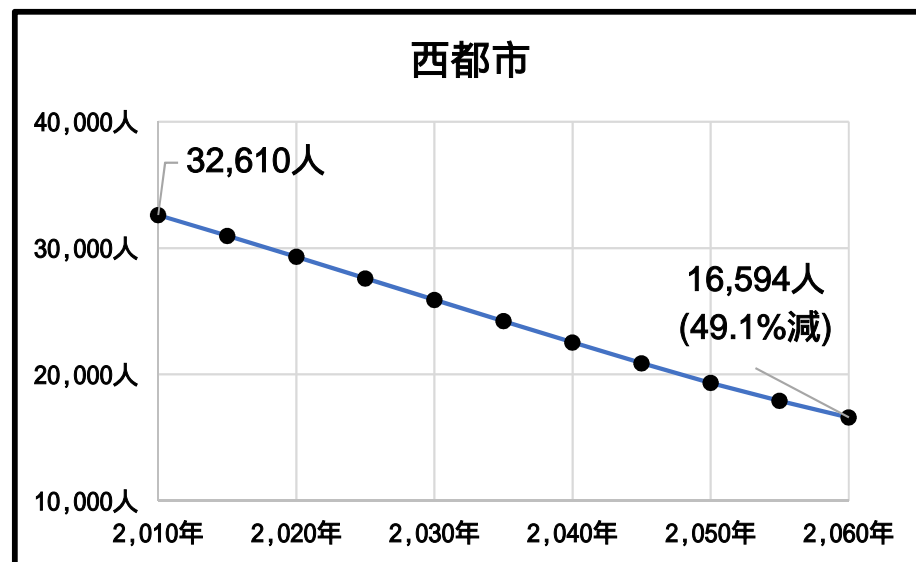
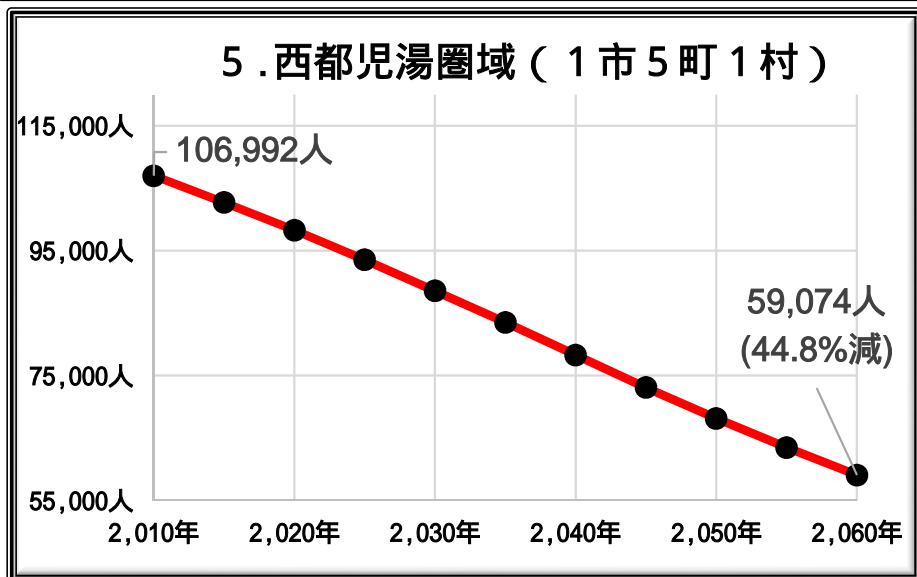
小林市は、老年人口の減少は高止まり、他自治体は、分類別人口(総人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口)のいずれも著しく減少。



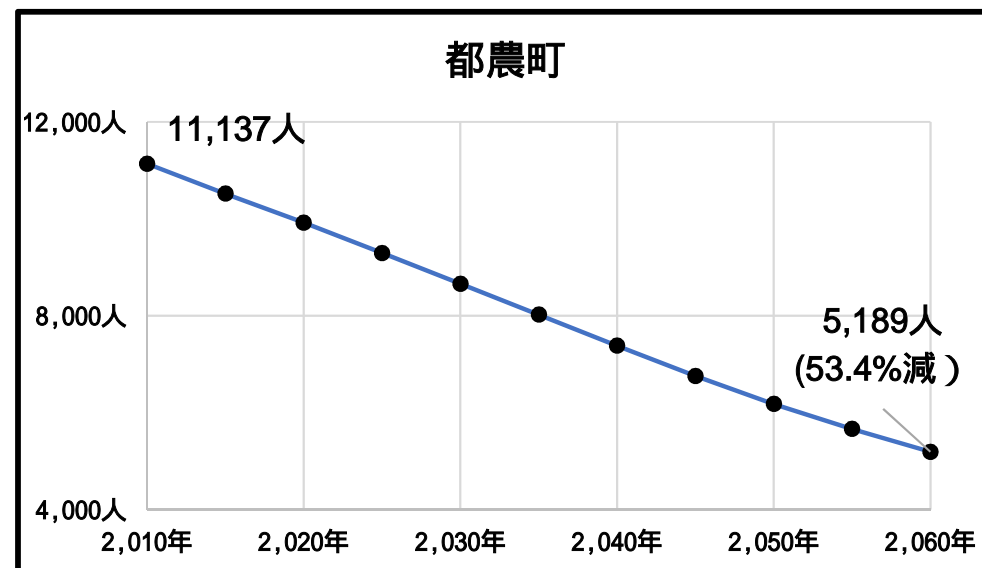
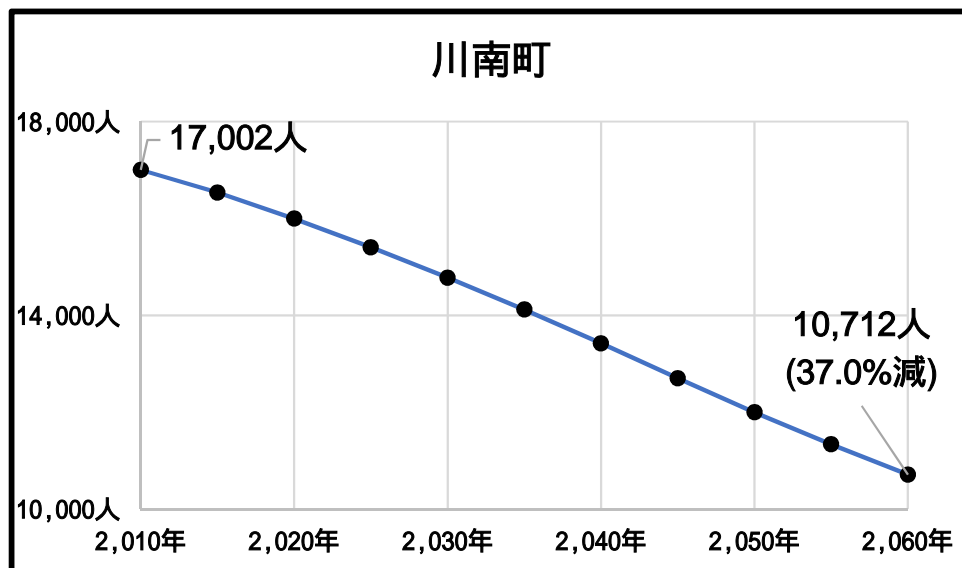
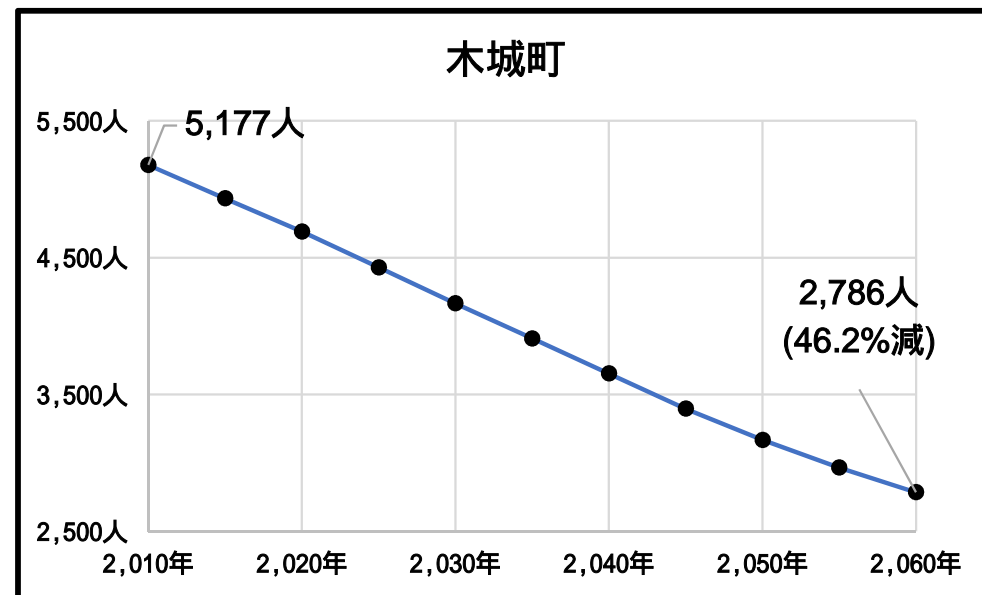
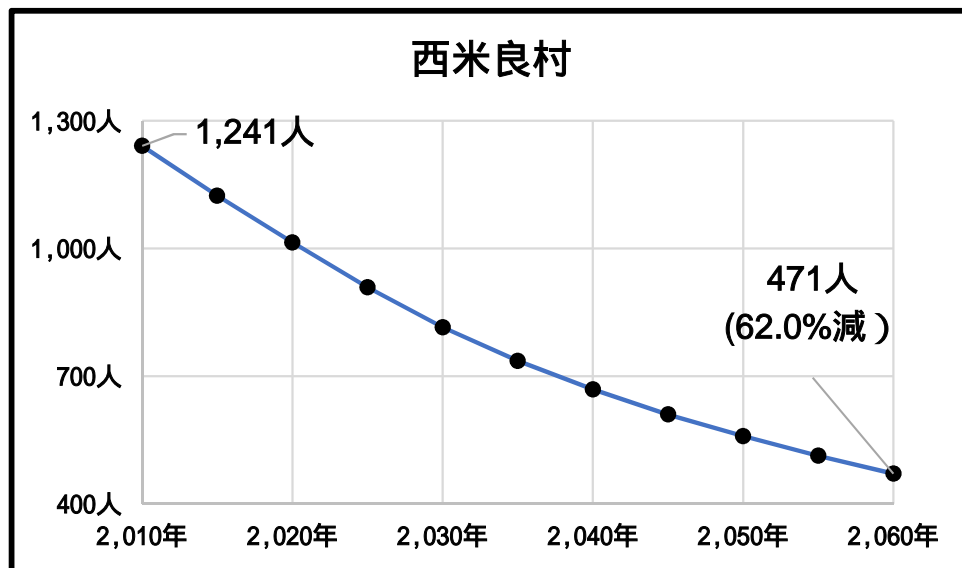
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(5) - 西都児湯圏域の総人口(将来推計)

圏域の総人口は44.8%の減、各自治体の総人口は約4割～6割減と著しく減少。



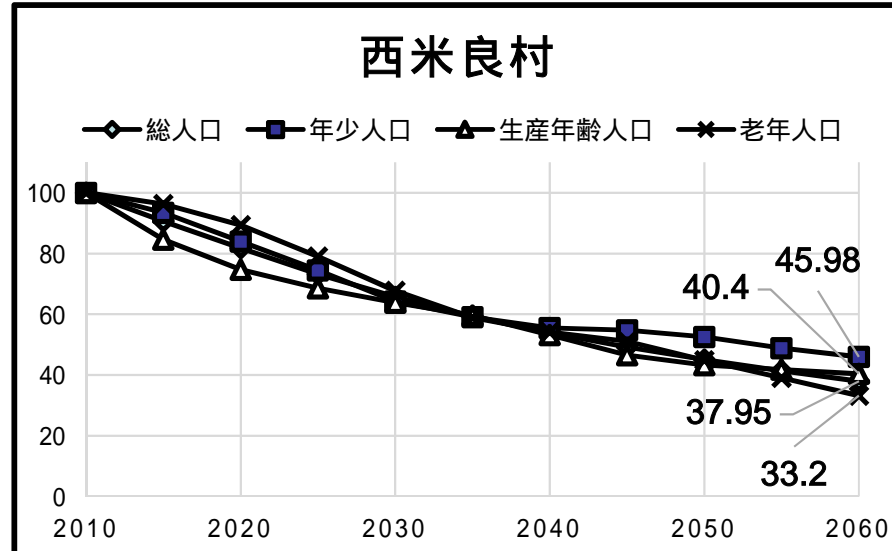
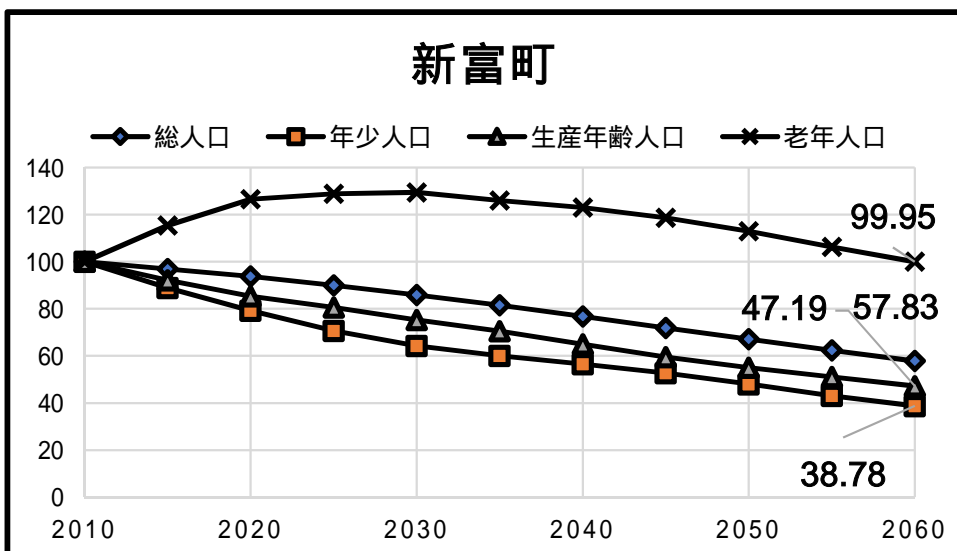
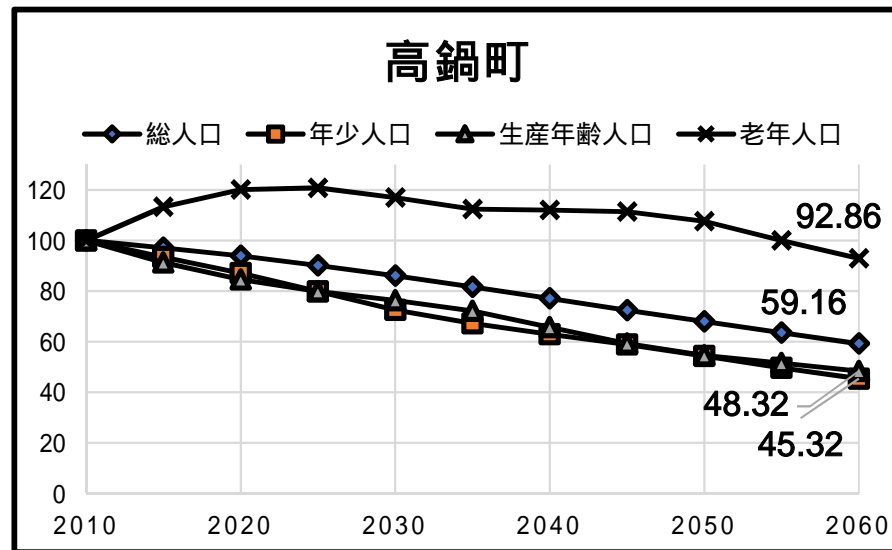
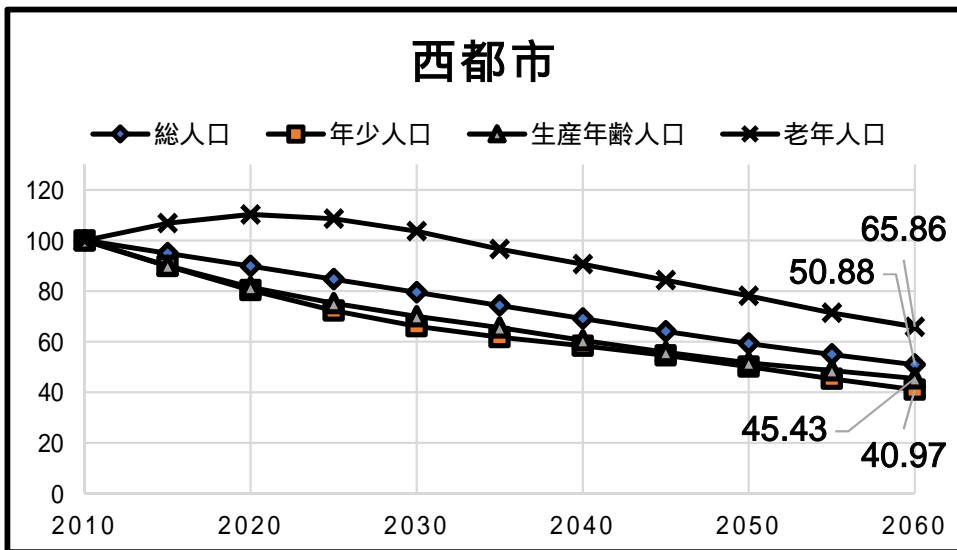
(5) - 西都児湯圏域の総人口(将来推計)



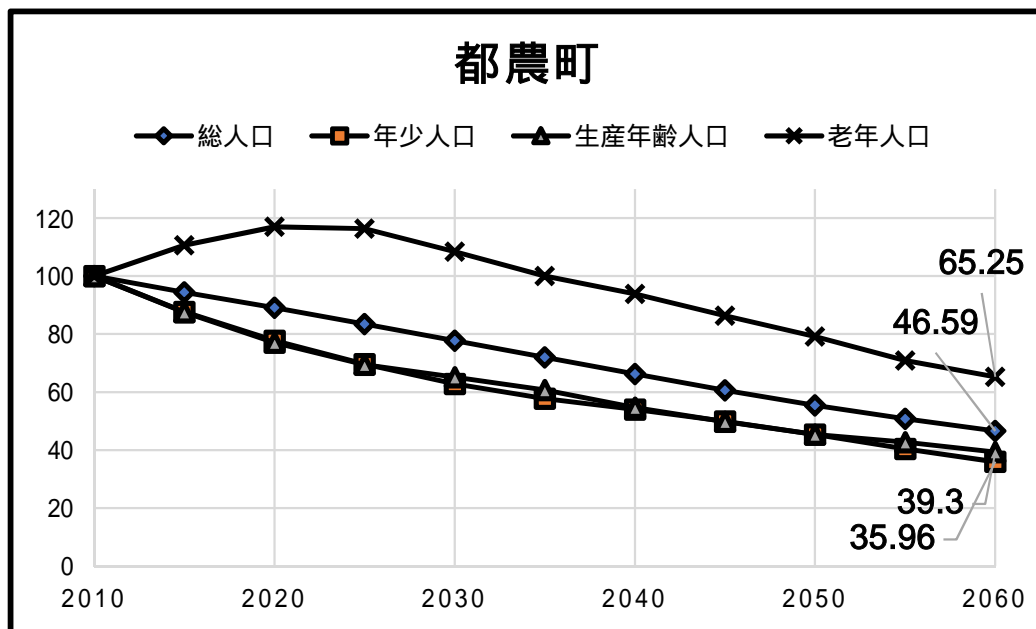
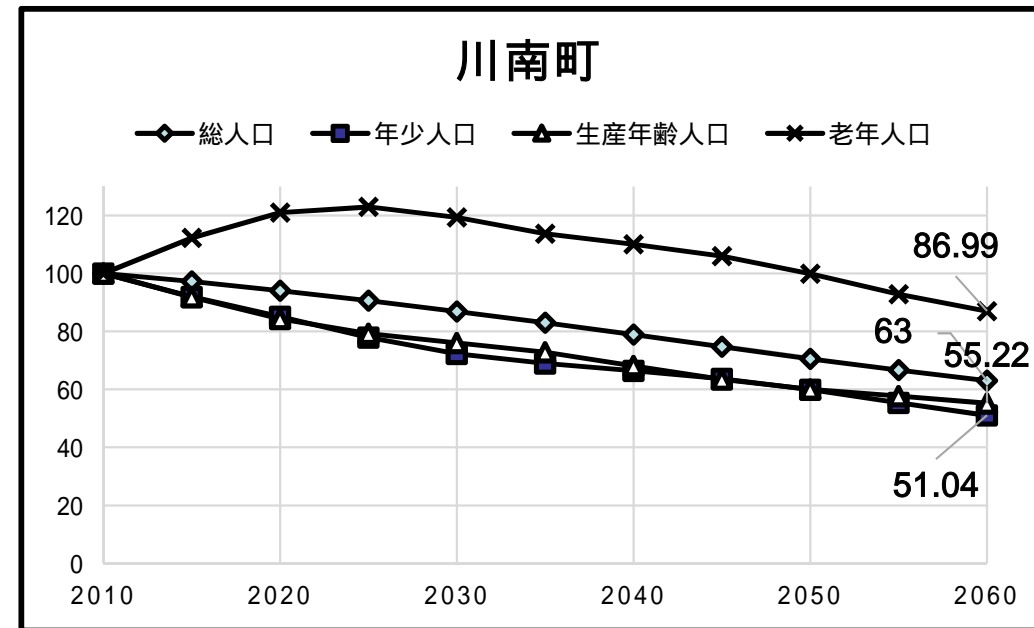
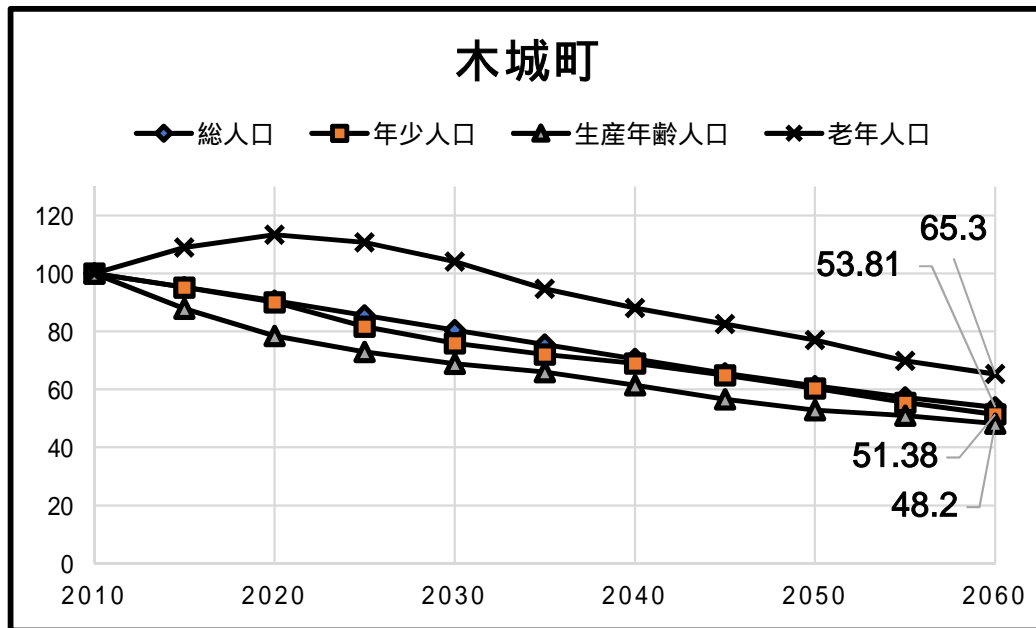
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(5) - 西都児湯圏域の分類別人口(将来推計)

高鍋町、新富町、川南町は、老年人口の減少は高止まり、他自治体は、分類別人口（総人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口）のいずれも著しく減少。

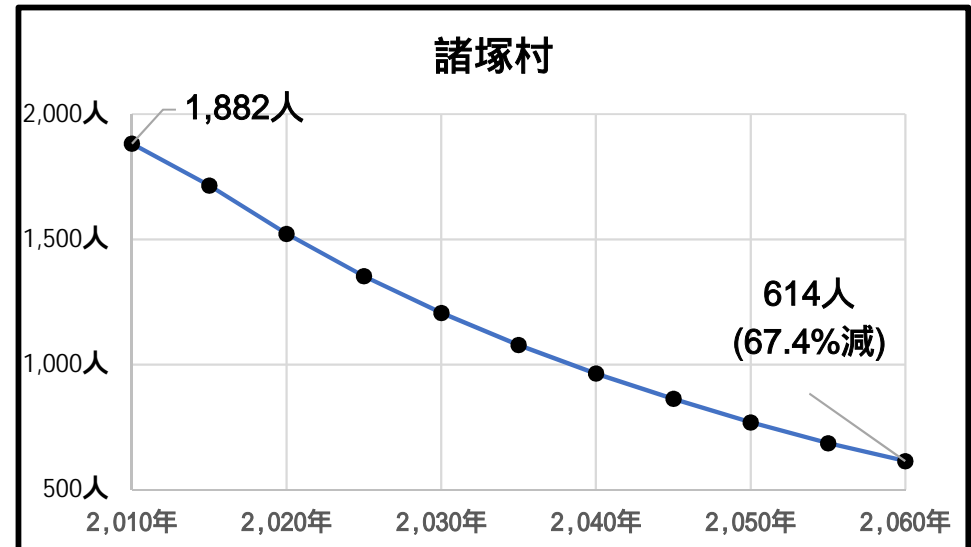
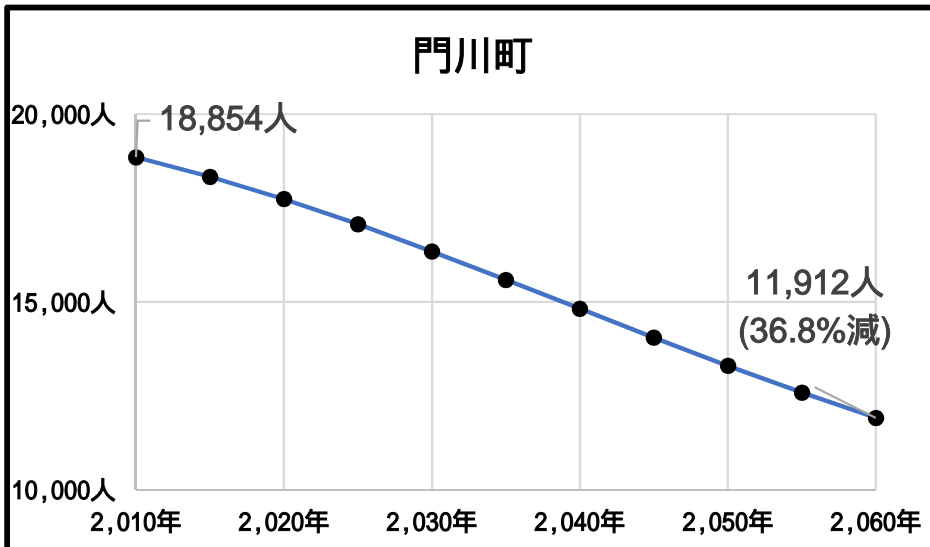
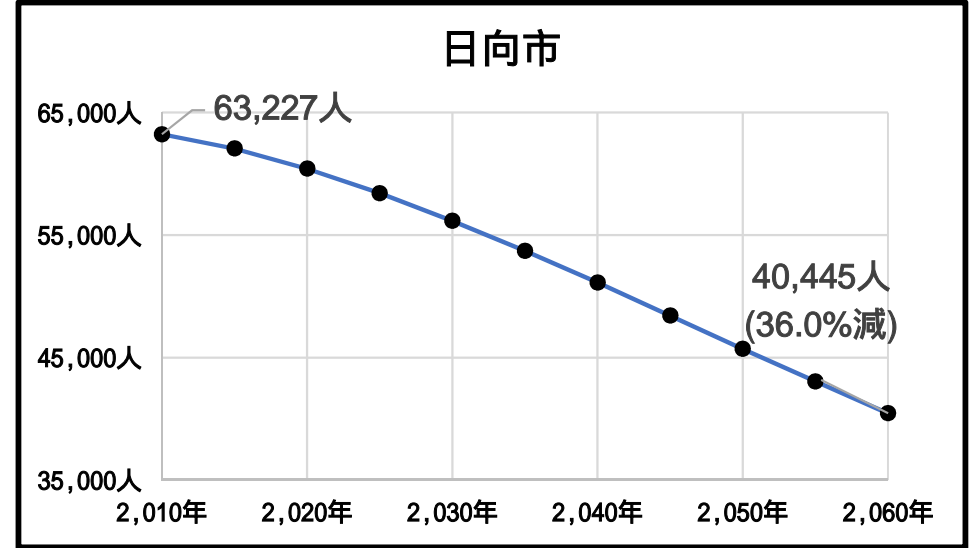
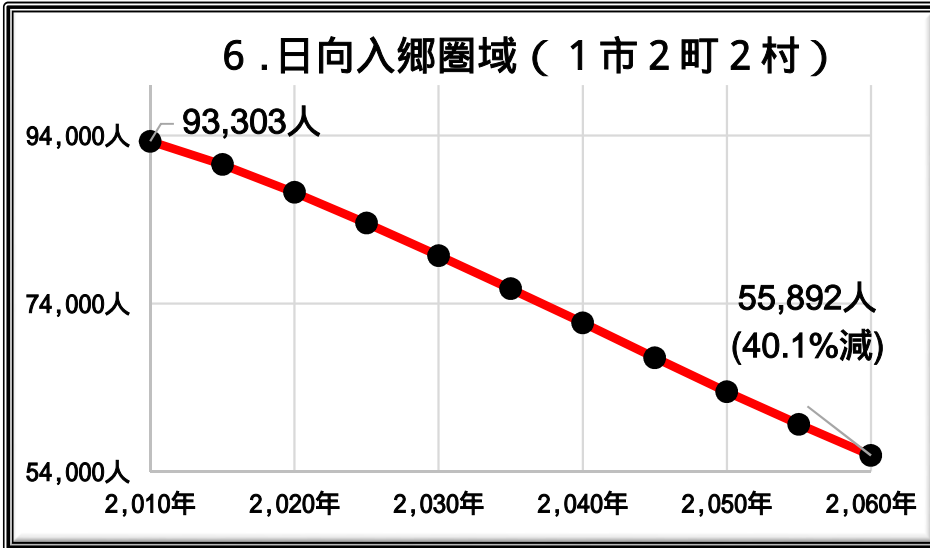


(5) - 西都児湯圏域の分類別人口(将来推計)

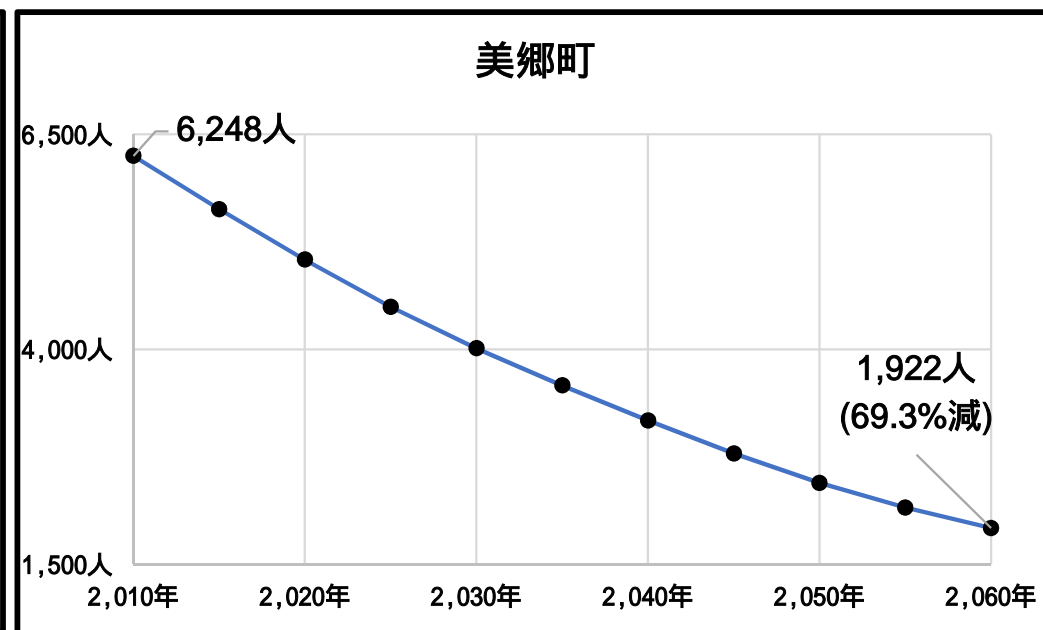
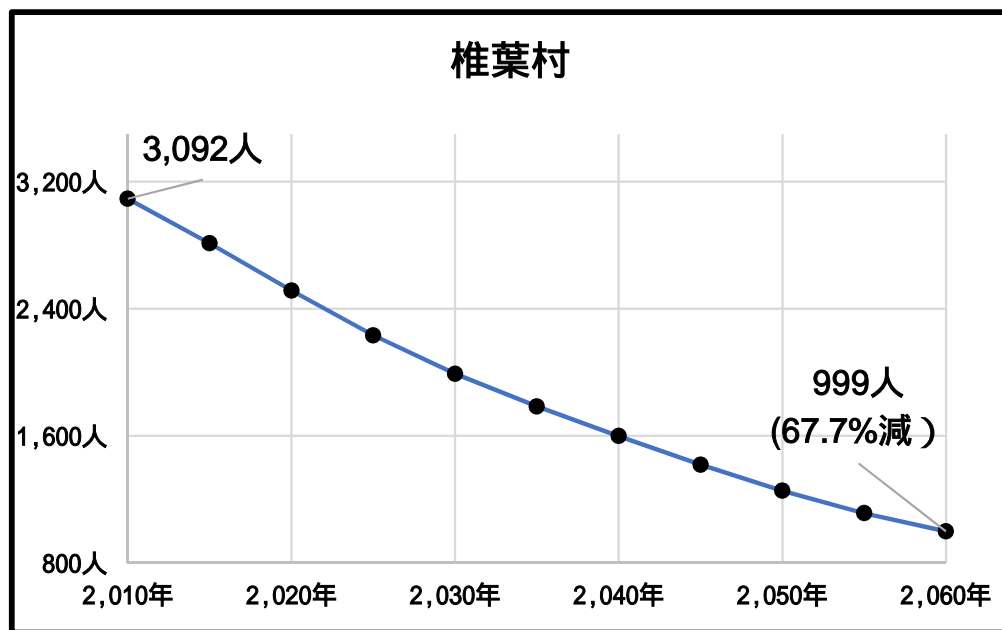


(6) - 日向入郷圏域の総人口(将来推計)

圏域の総人口は、約4割減、諸塚村、椎葉村、美郷町の人口減少は約7割減と著しく減少。

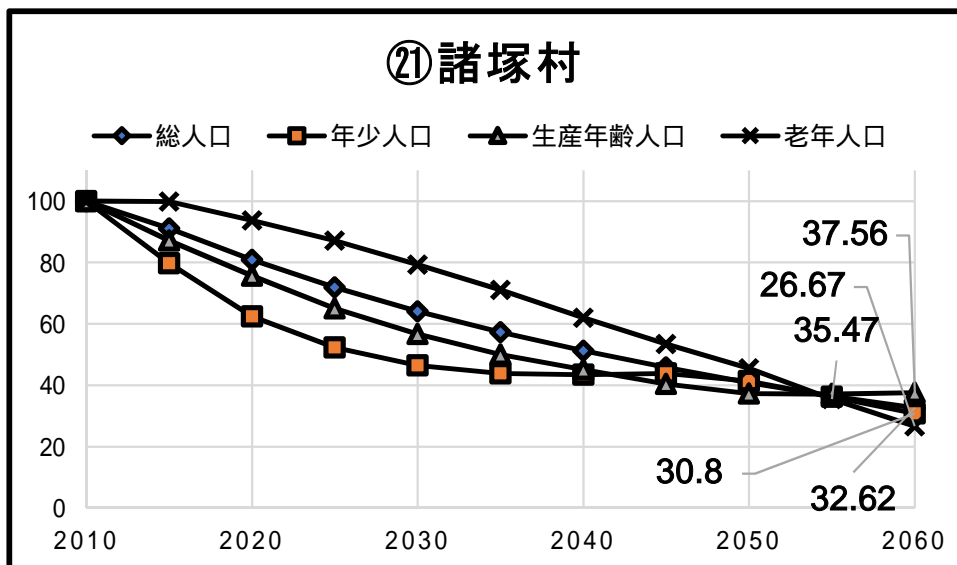
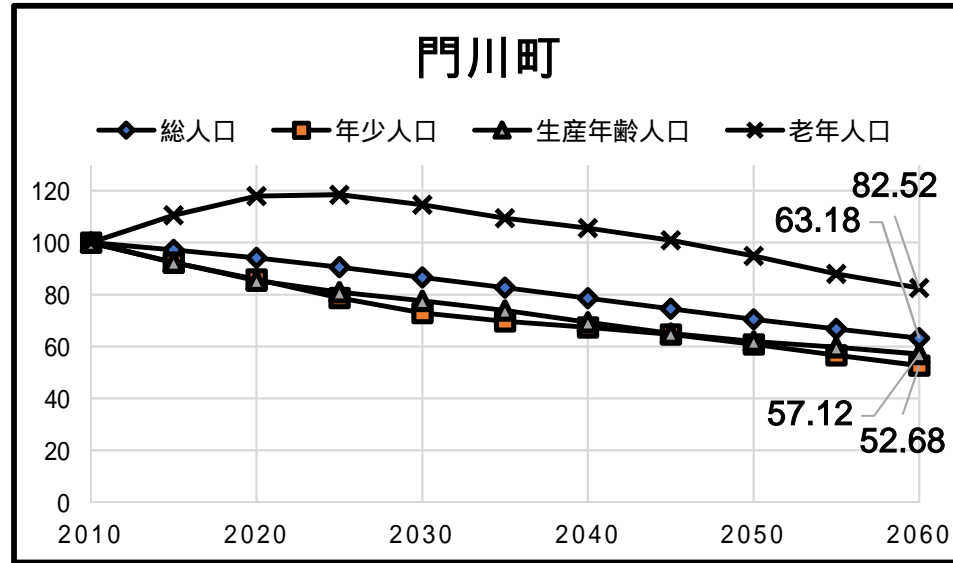
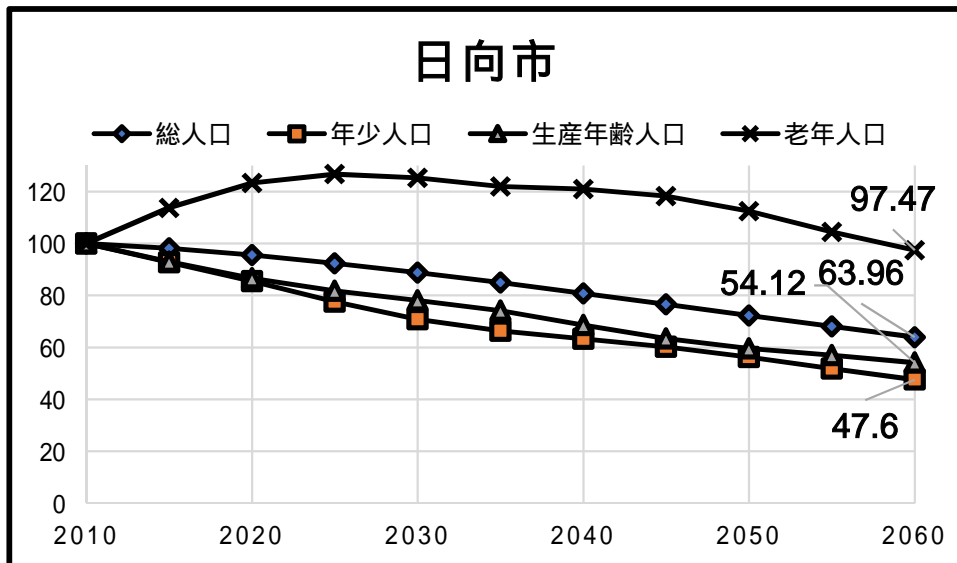


(6) - 日向入郷圏域の総人口(将来推計)



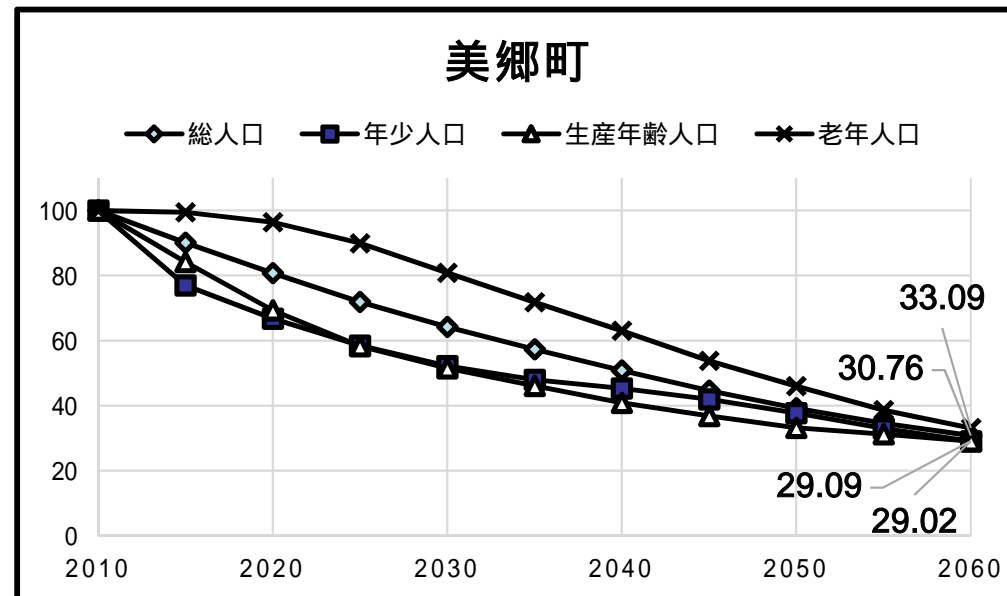
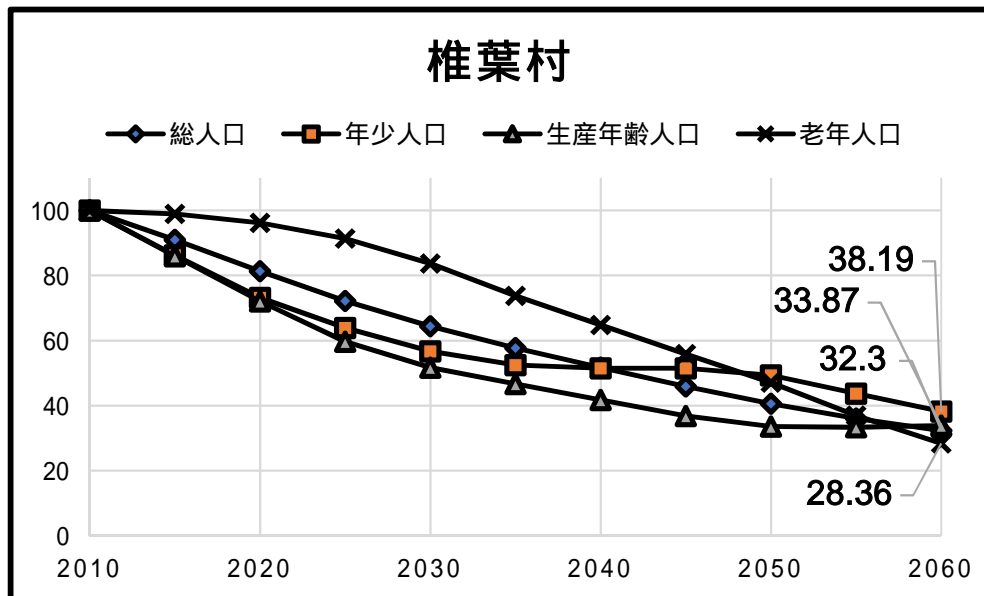
(6) - 日向入郷圏域の分類別人口(将来推計)

日向市、門川町は、老年人口の減少は高止まり、他自治体は、分類別人口（総人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口）のいずれも著しく減少。



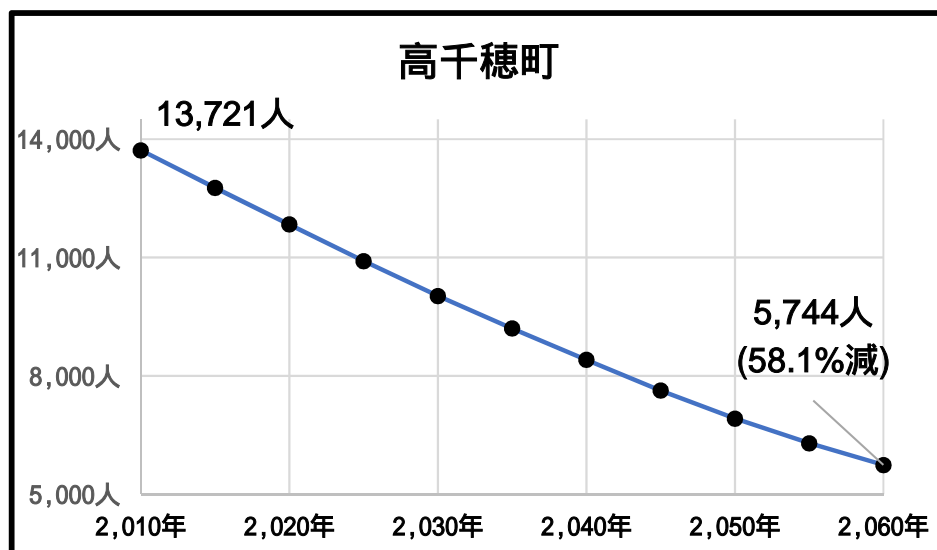
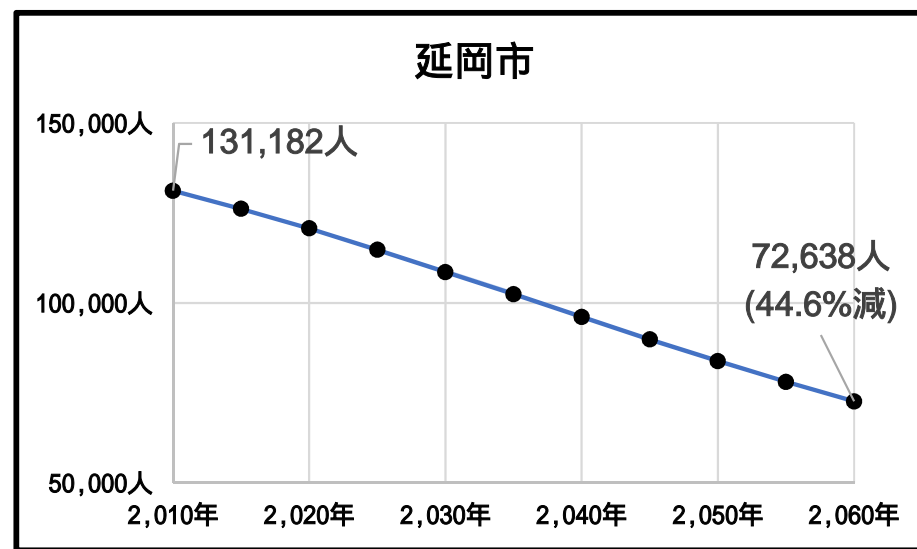
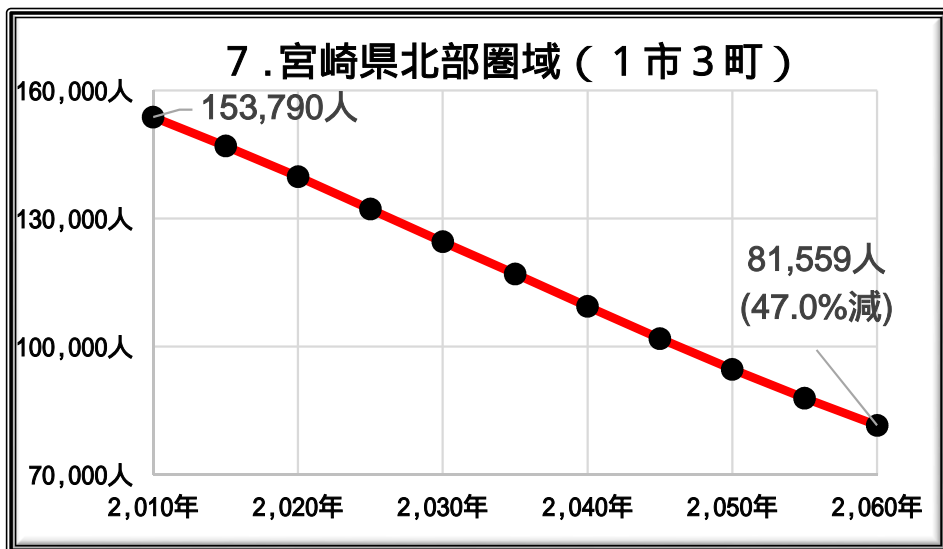
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(6) - 日向入郷圏域の分類別人口(将来推計)

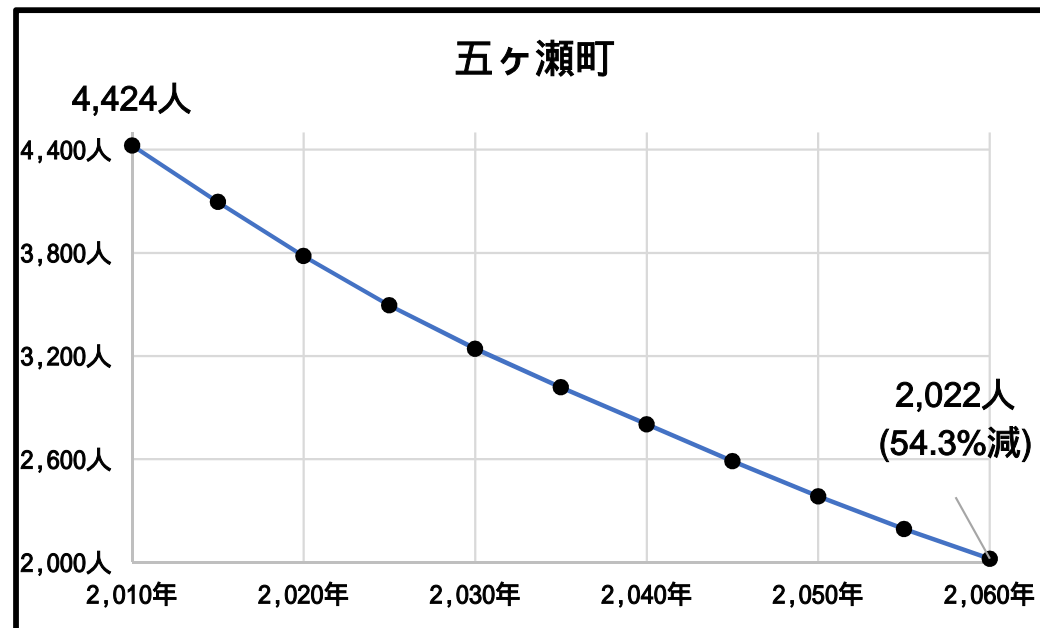
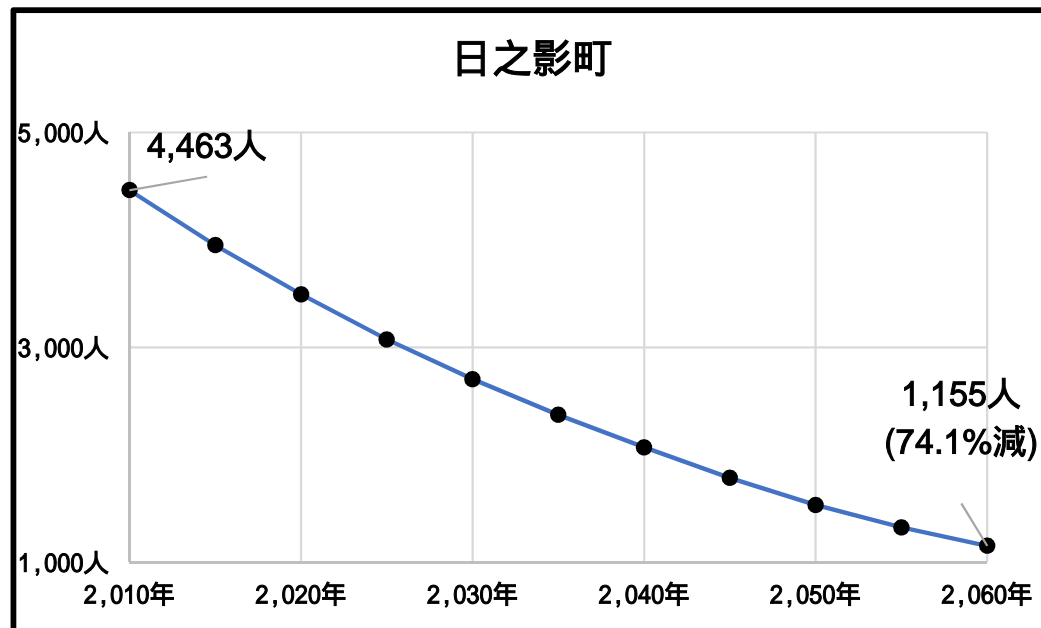


(7) - . 宮崎県北部圏域の総人口(将来推計)

圏域の総人口は、47.0%減、各自治体の人口は、約4割～約7割減と著しく減少。

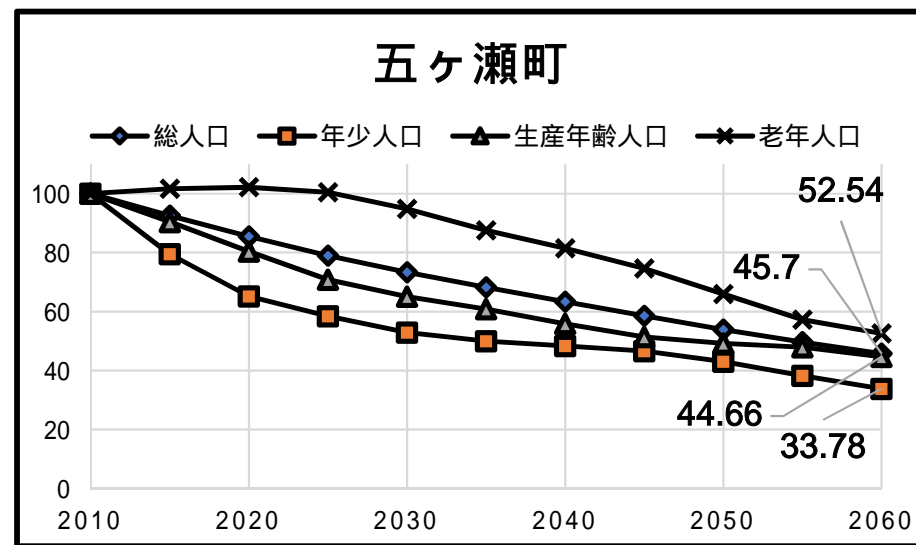
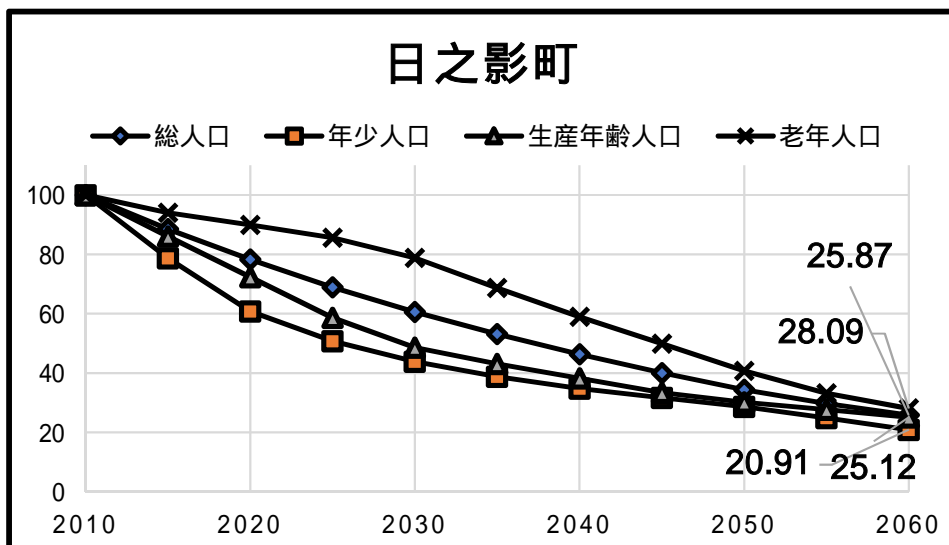
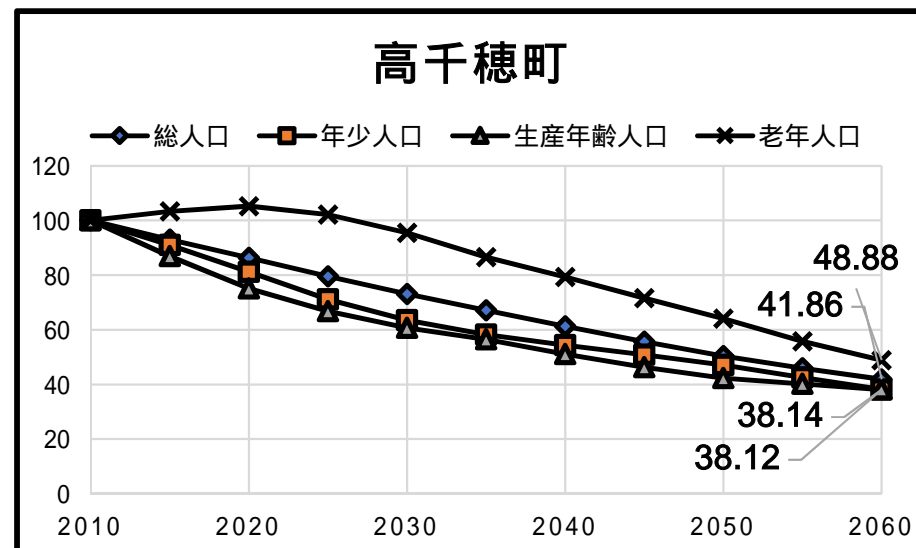
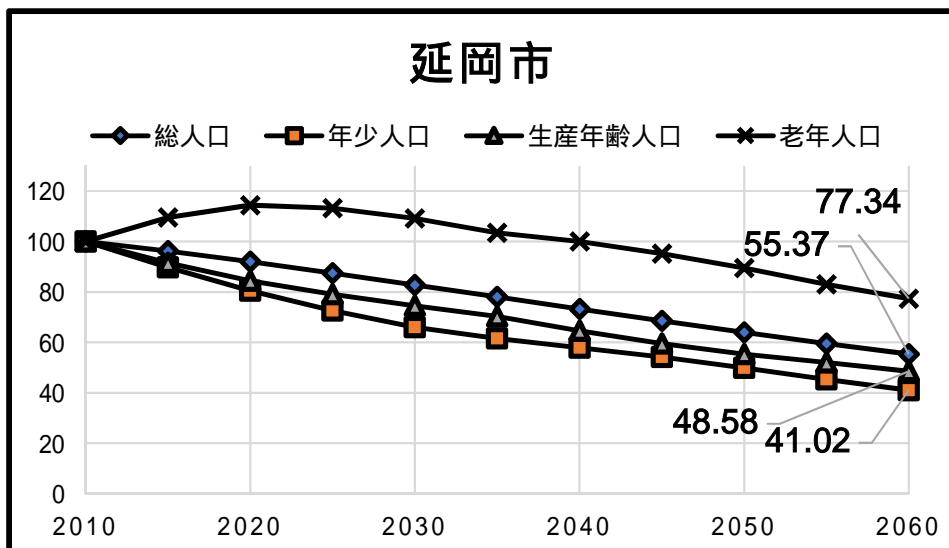


(7) - 宮崎県北部圏域の総人口(将来推計)



(7) - 宮崎県北部圏域の分類人口(将来推計)

延岡市は、老年人口の減少は高止まり、他自治体は、分類別人口（総人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口）のいずれも著しく減少。



4. 人口(将来推計)から見た課題と拠点等の整備

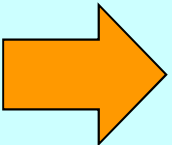
今後40年間に、各自治体の総人口及び生産年齢(働き手)人口は、大幅な減少に直面することとなり、あらゆる地域力(ひと、もの、かね)が低下する中で、いかに福祉サービスの維持・向上を図っていくのか地域の創意工夫が求められる。

【直面する課題】

税収の減少による限られた財源の有効活用。

働き手不足による介護・福祉人材の確保。

老年人口の高止まりによる重度・高齢化への対応。など

 課題解決の一つの手段として、あらゆる地域資源(自治体、事業所、人材など)の「連携」を基本とした拠点等の整備を目指す。

5. 宮崎県で進める拠点等の整備のポイント

【主なポイント】～あらゆる主体の連携を視点として～

自立支援協議会の活性化、基幹相談支援センターの整備、拠点等の整備をセットで取り組むとともに3つの主体間の連携体制の構築を図る。

限られた地域資源を有効活用するため、一つの自治体、一部の法人の力だけではない多主体間の連携による整備を図る。

コーディネーターなど拠点等のキーとなる人材が存分に能力を発揮することができるための環境整備及びキーとなる人材のノウハウを次世代へ継承する仕組みづくり（世代間の連携）。

地域の実情に応じた5つの機能の優先順位付けによる拠点等の整備、整備後の段階的機能の追加・充実。